

令和5年度実施事業 実施報告会

市民活動推進基金補助事業

令和6年6月1日（土）
市役所本庁舎4階 会議室2～5

【当日スケジュール】

●ステップアップ支援の部

10:00 開会

10:10 報告（5事業）

11:46 総括質疑

12:06 閉会

●スタート支援の部

13:30 開会

13:40 報告（7事業）

16:00 総括質疑

16:20 閉会

※報告順は、午前を「ステップアップ支援の部」、午後を「スタート支援の部」とさせていただきます。



お問い合わせ

茅ヶ崎市くらし安心部市民自治推進課協働推進担当（市役所本庁舎4階）

0467-81-7126（直通）

E-mail: shiminjichi@city.chigasaki.kanagawa.jp

令和5年度実施市民活動推進基金補助事業 実施報告書 目次

令和5年度実施市民活動推進基金補助事業実施報告会 進行予定表	1
令和5年度実施市民活動推進基金補助事業について	2
市民活動推進基金（愛称：市民活動げんき基金）にご寄附いただいた方々	5
茅ヶ崎市市民活動推進委員会委員構成名簿	7

令和5年度実施市民活動推進基金補助事業実績報告書

◆◆スタート支援◆◆

① チアフル～陽気に楽しくみんなでつながろう～	チアフル	8
② うみこころ「みんなこの地球に生きるおなじ命」		
～イロトリドリのを大切に、平和をつくる～	うみこころ	20
③ ボランティア養成講座～子どもの現状と課題、子どもに対する		
コミュニケーションを学ぶ連続講座～	一般社団法人リトルハブホーム	28
④ Family art day（ファミリー・アート・デイ）	ART ノ TANEMAKI	38
⑤ 子どもアニメーション体験教室	小さな教室カクツクル	46
⑥ 広報紙の作成と発行	ふるさとファーマーズ	54
⑦ 純水館文化を茅ヶ崎市民に発信～茅ヶ崎って素晴らしい！～	茅ヶ崎純水館研究会	60

◆◆ステップアップ支援◆◆

① 譲渡会：保護犬を知ろう!幸せ家族探し会	湘南1 Leben	69
② 子どもの権利を遊びながら知るコラボ学習会	ふらっと南湖	75
③ 女性防災会議 防災ブレイクスルー	マザーアース茅ヶ崎	85
④ スローコミュニケーションプロジェクト小冊子制作及び音声認識の店舗実証と		
合理的配慮の市民周知事業	一般社団法人4Hearts	95
⑤ ①がんサバイバーのためのワークショップとコミュニティ作り		
	ガーゼ帽子を縫う会	103

令和5年度実施市民活動推進基金補助事業実施報告会 進行予定表

各団体が10分程度で事業の実施状況を発表し、その後、6分程度で市民活動推進委員会が今後の事業展開や収支決算等についてコメントします。

◆ステップアップ支援の部

10:00 開会（委員長あいさつ、委員紹介、進行及び評価方法についての説明）

発表時間	No	事業名	団体名
10:10	1	譲渡会：保護犬を知ろう!幸せ家族探し会	湘南1Leben
10:28	2	子どもの権利を遊びながら知るコラボ学習会	ふらっと南湖
10:46	3	女性防災会議 防災ブレークスルー	マザーアース茅ヶ崎
休憩(11:02～11:12)			
11:12	4	スローコミュニケーションプロジェクト小冊子制作及び音声認識の店舗実証と合理的配慮の市民周知事業	一般社団法人 4Hearts
11:30	5	①がんサバイバーのためのワークショップとコミュニティ作り	ガーゼ帽子を縫う会
ステップアップ支援総括質疑(11:46～12:06)			

閉会 12:06～（委員長あいさつ）

◆スタート支援の部

13:30 開会（委員長あいさつ、委員紹介、進行及び評価方法についての説明）

発表時間	No	事業名	団体名
13:40	1	チアフル～陽気に楽しくみんなでつながろう～	チアフル
13:58	2	うみこころ「みんなこの地球に生きるおなじ命」～イロトリドリの命を大切に、平和をつくる～	うみこころ
14:16	3	ボランティア養成講座～子どもの現状と課題、子どもに対するコミュニケーションを学ぶ連続講座～	一般社団法人 リトルハブホーム
休憩(14:32～14:42)			
14:42	4	Family art day(ファミリー・アート・デイ)	ART/TANEMAKI
15:00	5	子どもアニメーション体験教室	小さな教室カクツクル
休憩(15:16～15:26)			
15:26	6	広報紙の作成と発行	ふるさとファーマーズ
15:44	7	純水館文化を茅ヶ崎市民に発信 ～茅ヶ崎って素晴らしい！～	茅ヶ崎純水館研究会
スタート支援総括質疑(16:00～16:20)			

閉会 16:20～（委員長あいさつ）

令和5年度実施市民活動推進基金補助事業について

1 申請団体募集

広報ちがさき、市公式ホームページ等で申請団体を募集しました。

○募集期間 令和4年12月1日（木）～令和5年1月12日（木）

2 企画書作成会

○日 時 令和4年12月12日（月）～12月23日（金）までの間

事前予約制・個別実施

3 公開ヒアリング及び公開プレゼンテーション

スタート支援申請事業については、市民活動推進委員会委員による申請団体へのヒアリングを行いました。

ステップアップ支援申請事業については、申請団体によるプレゼンテーションと、市民活動推進委員会委員との質疑応答を行いました。

○日時 令和5年3月18日（土）

9時30分～16時

○対象 スタート支援8団体、ステップアップ支援5団体

4 補助事業の選考

非公開の選考会議で、市民活動推進委員会委員が各団体の事業内容を次の項目で評価しました。

（スタート支援申請事業については★印がある3項目のみを評価）

(1) 公益性★：事業の成果は、市民や地域の利益になる（つながる）ものか。また、市民や地域のニーズに適した事業であるか。

(2) 発展性★：補助を受けることで、団体や事業の発展につながるか。

(3) 費用の妥当性★：対象経費の内容、補助の申請額は妥当であるか。事業の内容や効果が、金額と見合うものであるか。

(4) 事業実現性：実行可能な方法・スケジュール・予算で事業計画が立案されているか。また、新たな視点や発想から提案されたものであるか。創意工夫がなされているか。

(5) 自立性：自己努力による資金確保に努めているか。

5 選考結果

選考会議の審議結果（事業及び補助額の評価結果）は、市長に報告され、市長が予算の範囲内で各事業の採択及び不採択を決定しました。

うち、スタート支援1団体は、採択後に事業を廃止したため、スタート支援7団体、ステップアップ支援5団体での事業実施となりました。

6 事業実施後の評価について

(1) 市民活動推進委員会の評価

市民活動推進委員会は、団体が市民活動推進補助金により実施した事業の報告を受けて、当該事業に対して次のような観点から5段階評価を行うとともに、コメントを付します。

○事業の実施状況（事業内容）について

○事業の効果について

○今後の展開や発展について

(2) 段階評価

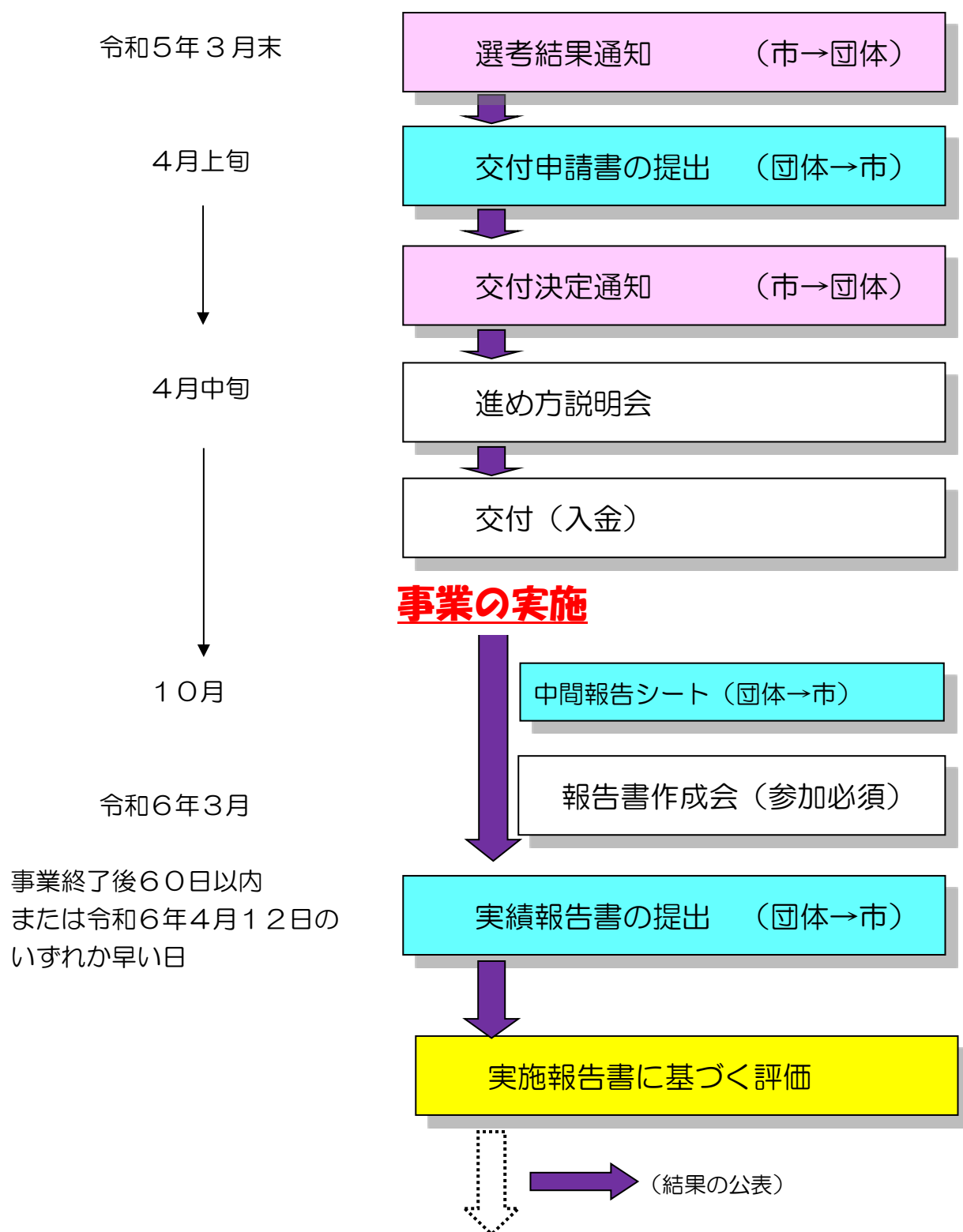
市民活動推進委員会が行う「事業内容」「効果」についての評価は、5段階評価とします。

評点	評価段階
5	事業実施前の想定をはるかによい方向に上回った。
4	事業実施前の想定をやや良い方向に上回った。
3	事業実施前に想定した範囲の内容であった。
2	事業実施前の想定よりやや低いと感じられた。
1	事業実施前の想定よりはるかに低いと感じられた。

(3) 市民活動推進委員会の役割

個々の事業実施結果に対し、第三者的視点からの評価、助言を行うとともに、補助事業の全体像を把握することで、今後の制度改善や市民活動の推進、団体サポート等についての審議を効果的に進め、評価結果及び審議結果を行政にフィードバックします。

7 事業実施前の準備から評価までの流れ



評価結果は、市民自治推進課で一元管理し、市民活動の推進及び制度の改善に活用します。

市民活動推進基金（愛称：市民活動げんき基金）にご寄附いただいた方々

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

寄附者（敬称略）	寄附年月日	寄附金額（円）
歌声サロン「チーパッパ」	令和5年4月4日	6,228
湘南ヤクルト販売株式会社	令和5年4月20日	9,260
ふるさと納税（匿名）	令和5年4月25日	10,000
ふるさと納税（匿名）	令和5年6月25日	12,000
令和4年度実施市民活動げんき基金補助事業 実施報告会設置募金箱	令和5年6月26日	500
サザン通りの陽だまりマルシェ	令和5年6月30日	3,345
ふるさと納税（匿名）	令和5年6月30日	10,000
歌声サロン「チーパッパ」	令和5年7月18日	6,352
ふるさと納税（匿名）	令和5年7月31日	44,000
匿名	令和5年8月1日	50,000
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	令和5年9月7日	40,931
ふるさと納税（匿名）	令和5年9月10日	11,000
ふるさと納税（匿名）	令和5年9月25日	10,000
茅ヶ崎心の癒しサロン	令和5年10月19日	3,345
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	令和5年10月20日	58,351
マルハン茅ヶ崎店・平塚店	令和5年10月25日	250,000
歌声サロン「チーパッパ」	令和5年10月25日	6,231
匿名	令和5年10月31日	30,000
益永 律子	令和5年10月31日	10,000
錦織 弘	令和5年11月2日	5,000
特定非営利活動法人NPOサポートちがさき	令和5年11月14日	9,651
湘南ヤクルト販売株式会社	令和5年11月14日	13,370
ふるさと納税（匿名）	令和5年12月10日	23,000
ふるさと納税（匿名）	令和5年12月25日	48,000
ふるさと納税（匿名）	令和5年12月26日	3,000
ふるさと納税（匿名）	令和5年12月30日	16,000
匿名	令和6年2月20日	10,000

宮崎 俊一	令和 6 年 3 月 18 日	20,000
特定非営利活動法人NPOサポートちがさき	令和 6 年 3 月 29 日	500
	合計	720,064
	平成17年度からの合計	13,656,683

市民活動推進補助事業 協力企業

市民活動推進基金自動販売機設置協力企業様から、対象となる自動販売機の売り上げの一部をご寄附いただきました。

寄附者（敬称略）	寄附対象自動販売機設置場所
湘南ヤクルト販売株式会社	茅ヶ崎市体育館
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	浜須賀会館 海岸地区コミュニティセンター 小出地区コミュニティセンター コミュニティセンター湘南 茅ヶ崎地区コミュニティセンター 鶴嶺東コミュニティセンター 鶴嶺西コミュニティセンター 高砂コミュニティセンター

令和5年度事業は、株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン（GDO）様からの企業版ふるさと納税も活用して補助を実施しました。




GDO
CHIGASAKI GOLF LINKS

GDO 様は「GDO 茅ヶ崎ゴルフリンクス」（茅ヶ崎市菱沼海岸）の運営事業者として、これまでも市政の様々な分野に対しご寄附をいただくなど、ご支援・ご協力をいただいております。

茅ヶ崎市市民活動推進委員会委員構成名簿

令和6年6月1日現在

区分	委員名	所属
市 民	やま ぐち あつ し 山 口 敦 史	公募
	とう ま え り 藤 間 英 里	
市民活動を行う ものの代表者	さか た み ほ こ 坂 田 美 保 子	特定非営利活動法人湘南 NPO サポートセンター
	いち かわ あゆみ 市 川 歩	特定非営利活動法人湘南スタイル
事業者の代表者	かん の あつし 菅 野 敦	湘南信用金庫執行役員茅ヶ崎営業部
	は ば だい すけ 羽 場 大 祐	公益社団法人茅ヶ崎青年会議所
	ふな やま よし のり 船 山 福 憲	株式会社タウンニュース社
学識経験を 有する者	だか やま かす しげ 高 山 和 茂	茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会
	わか ばやし ひで とし 若 林 英 俊	社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会
	やま だ しゅう じ 山 田 修 嗣	文教大学国際学部

実績報告に関する資料

スタート支援の部

No	事業名	団体名	ページ番号
1	チアフル～陽気に楽しくみんなでつながろう～	チアフル	P.8
2	うみころ「みんなこの地球に生きるおなじ命」～イロトリドリの命を大切に、平和をつくる～	うみころ	P.20
3	ボランティア養成講座 ～子どもの現状と課題、子どもに対するコミュニケーションを学ぶ連続講座～	一般社団法人 リトルハブホーム	P.28
4	Family art day(ファミリー・アート・デイ)	ARTノTANEMAKi	P.38
5	子どもアニメーション体験教室	小さな教室カクツクル	P.46
6	広報紙の作成と発行	ふるさとファーマーズ	P.54
7	純水館文化を茅ヶ崎市民に発信 ～茅ヶ崎って素晴らしい！～	茅ヶ崎純水館研究会	P.60

第9号様式（第17条関係）

市民活動推進補助事業実績報告書

令和6年3月29日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地
報告者 名 称 チアフル
代表者氏名 久住奈美

令和5年4月1日付け5茅市自第14号で交付決定を受けました「チアフル～陽気に楽しくみんなでつながろう～」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業実施報告書

事業名	チアフル ～陽気に楽しくみんなでつながろう～
事業の実施内容 ※実施方法、場所等を具体的に記入してください。	「ゲームで交流会」 (日程) 4月 (場所) リトルハブホーム「みんなの家」 (内容) 一般社団法人「リトルハブホーム」、「湘南やさしい日本語プロジェクト」協力のもと、共生社会啓発ゲームであるワンダーワールドツアーゲームを開催しました。 このゲームは、参加者それぞれに個性を割り振り、その人物になりきりながら「どんな時に人の助けが必要か?」「どんな時にどんな困りごとがあるのか?」「どういう風をお願いしたり遠慮せず伝えるべきなのか?」といったことを考え伝え合い協力しながら旅をして共通ミッションをクリアするゲームです。 「ビーチクリーン」 (日程) 7月、12月 (場所) サザンビーチ (内容) なぜこんなにゴミが海には多いのか?ニュースなどで出る話をしながら、ゴミ問題について考えながらクリーン活動を行いました。 「ボッチャ体験」 (日程) 8月、11月 (場所) 柳島小学校／BRANCH3まちづくりスポットちがさき (内容) 正式な競技用のボールを使い、アイスブレイクや正式ルールでミニゲームを行いました。 「農業体験」 (日程) 10月 (場所) 永野ファーム (内容) はじめてのご参加の方が多かったので、自己紹介は丁寧に自己紹介で「得意な事・苦手な事」を発表していただきスタートしました。 お芋ほりは、掘り方の説明を農園の方に教えて頂き、収穫の

	あとは自分の掘ったお芋の自慢大会をしてもらいました。また大人はお芋のツルを使ってリース作りも行いました。 「映画鑑賞会」 (日程) 1月 (場所) うみかぜテラス (費用) 500円／人 (内容) 定員30名で実施。予定人数を大きく上回る応募があり教育への変化や関心を持たれている方が多くいるのだと感じました。約90分の上映時間でしたが、子どもたちも最後まで鑑賞していました。上映会後「子どもにとって安心できる大人とは？」というテーマでディスカッションを行った。 募集人数をあまり多く設定しなかったのは、映画を見た後にディスカッションの時間を大切にし、映画を見て終わりではなく、地域としてできることを参加者と共有したかったからです。しかし、ディスカッションに関する周知不足によりほとんどの方が鑑賞のみで帰られてしまいました。後日映画の感想をお送りくださった方も数名いらっしゃいました。 広報活動【チアフルチラシ・上映会チラシ】 まちづくりスポットちがさき、市民活動サポートセンター、うみかぜテラス、各会場にて配布
事業の参加者数	・ワンダーワールドツアーゲーム 11名 ・ビーチクリーン 7月：16名、12月：8名 ・ボッチャ 8月：18名、11月：30名 ・農業体験 25名 ・映画鑑賞会 27名 合計：135名
事業の日程	・ワンダーワールドツアーゲーム 4月30日(日) 10:00～12:00 ・ビーチクリーン 7月22日(土) 16:00～17:00 12月23日(土) 10:00～11:30 ・ボッチャ 8月26日(土) 10:00～12:00 11月25日(土) 13:00～15:00

	・ 農業体験 10月14日(土) 10:00～12:00 ・ 映画鑑賞会 1月27日(土) 13:30～16:30
事業の成果と今後の展開	「ゲームで交流会」 このゲームを通じて、お互いを尊重したり気を配りながら、大人から子どもまで楽しく学べていた。モンゴル人の方の参加もあり、どのように伝えるとわかりやすいのか？言葉選びや伝え方の工夫の学びもあった。 また当日は「マイノリティー」に関する話し合いを行った。マイノリティーの根底として、交流の足りなさも共通認識として気づきがありました。 「ビーチクリーン」 子どもたちは漂流しているごみだけではなく、最近捨てられたであろうごみを見ながら「ポイ捨てはいけないこと！」「大人なのにごみを捨てて！」と、ごみ拾いを通して海を綺麗にすることの大切さを感じていた。 小さな子や障害のある子にも合わせて声を掛けたり、ゆっくり走るなど工夫しながら活動していました。 「ボッチャ体験」 競技に詳しい方のご参加もあり、いつにも増して本格的な開催でした。ボッチャは老若男女問わず楽しまれ、初対面の方も参加しやすいようで、団体の活動合っていると思います。ボランティアの協力もあり様々な体験を通して子ども同士の交流が生まれていました。 8月は夏の暑い日の開催だったこともあり、会場の状況を考えると今後季節を考慮し会場選びは慎重にしなければならないと感じました。 「農業体験」 今回は様々な個性のお子さんの参加が多かったのですが、子どもたちにとっては関係なく、サツマイモが抜けなくて頑張っている子を見て「手伝おうか？」と声をかけ、それでも抜けなければ「助けてください」と大人へ代わりに伝えるなど、言葉がなくても交流できる子どもたちの姿が印象的でした。子どもにとっては、どんな子も関係ないただの「人」であることを強く感じました。 また、新鮮な食べ物だからこそ大量にでんぷんが出てくる様

子を見れたり、普段できない体験により子どもたちが興奮し最初の自己紹介ではなかなか話せていなかった子も活動が進むにつれて積極的になっていました。

「上映会」

社会を窮屈に感じている子どもや色々な背景がある子どもが増えているにも関わらず、人と人との関係性の希薄化により、子どもたちの「困りごと」に気づけない大人も少なくありません。今回の上映会は、そんな困りごとに気づける大人が増えることも願い開催しました。インフォメーション不足でディスカッションの参加者が少なかった点は大きな反省点となりました。今後はより具体的に詳細を伝えていきたいと思います。

（全体を通して）

障害があっても参加しやすい環境を作りながら、健常の方も楽しめる内容となるようバランスを考えるのは難しかったが、今回はボランティアで参加して下さった方も多く、子どもたちに対して手厚いサポートができたと感じる。

また参加して下さった保護者の方が、回を重ねるごとに慣れサポートを率先して下さったり、大人が子どもたちから学んで自主的に動く場面もありました。

天候の問題により開催が出来ないイベントが多かったです。また、周知などがあまり上手にできていなかったのが大きな反省点としてあります。

体温調整が苦手な方など身体的に困難のある方への配慮に欠けていたせいか障害のある方の参加が少なかったと感じます。

公設の会場をお借りして開催したボッチャは、エアコンがある会場を抑えることを想定していたが落選してしまい、理想通りの場所の確保が難しかったです。

今後の課題は、現在の日本での発信は、チアフルも含め「インクルーシブ＝障害のある方のため」と捉えられがちで表現の難しさを感じています。そうなることにより「障害＝他人事」となり健常の方の共感を得にくくなると感じるので、発信時の表現に注意したいと考えます。

今回、市民活動げんき基金補助事業を通して知っていただいた方や共感して下さる方、様々な活動をされている方との繋がりが増えたので、そのような方たちから何か一緒にやりましょうとの声も多くあり、共にコラボイベントを開催し、インク

	ルーシブ＝他人事ではなく万人のためであること、陽気に楽しくみんなでつながることの大切さ、どんな人も人であり対等であるべきことを伝わりやすく、やわらかくお伝えして行きたいと思います。 また、ボランティア含め人材確保は大きな課題ですので、市民活動げんき基金補助事業を通じて生まれたつながりだけでなく、他の方法についても団体内で協議して行きたいと考えます。
--	---

収支決算書

収入

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
事業収入	15,000	13,500	上映会参加費:27名×500円=13,500円
補助金	100,000	47,000	市民活動推進基金補助制度(返納:53,000円)
団体収入	146	191	団体にて負担(団体への寄附、団体資金等)
	115,146	60,691	

支出

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
物品費	21,622	3,624	ポッチャボールセット:3,624円 (その他、当初計上していた文房具、事務用品等は、雨天により中止した回もあったため団体所有のものを使用。また、ワンダーワールドツアーゲームのカードは協力団体から借用したため計上していない。)
印刷製本費	6,984	3,087	★団体PRチラシ(A4・片面カラー100部) 上映会チラシ(A4・両面カラー100部)
使用料・賃借料	86,540	53,980	会場費(うみかぜテラス):2,880円 「夢見る小学校」上映用レンタルDVD:50,000円 レンタルプロジェクター・音響設備:1,100円
	115,146	60,691	

夢見る小学校感想

Aさん

私が「きのくに子どもの村学園」の存在を知ったのは2014年に発行された「弱さの思想」という辻信一さんと高橋源一郎さんの対談をまとめた本からでした。

今回の「夢見る小学校」をみて、まず小学生が木工DIYをやっていることにびっくりしました。それを「おとな」がこどもたちを陰で支えながらもその行動を信用している姿に感銘を受けました。こどもの「自分でいられる場所」というような発言が物語るように、全編にわたってそれが染み入るように伝わりました。所々で堀さんをはじめ、茂木さん、尾木さん、高橋さん、辻さん、西郷さんのコメントが的確で胸をうちました。女性がいなのはなぜだろう？

映画の中のコメントで「夢見ているとき、夢中になっているときに成長する」「問を発することの大事さ、答えはないことが多いからね」「公立でも自由にできるんです」「軍隊のようにする必要はない」「成績の高い子が多い」「体験学習からさまざまな教科が学べる」「脳科学の世界では障がいと言わない、すべて特性」等々、目からうろこでした。

私も20年位前に保育士として発達障がいと言われるお子さんたちの保育活動をしたことがありま

す。今ようやく認知され始めているのを感じますが、まだまだ理解されていないようです。

映画を見た27日にNHKで「学校の未来」30万人の不登校をとりあげた番組をやっていました。そこでも今の学校システムが合わなくなっているという発言があり、「こども主体」の学びをするべきということも言われていました。このようなことはもっともっとテレビで取り上げてほしいものです。

私は高齢者となり、もう現役の保護者ではなくなりましたが、この映画の応援はできます。

27日の会場に参加された方たちとはお話してできませんでしたが、なにか熱いものを感じました。社会が変わらなければ動いてほしいこともままなりません。私が保育士をやっていた40年くらいまえにはこどもの保育環境をよくするよう、署名活動、対市交渉を続けてきましたが、社会が変わってきたのは今ようやくという感じは否めません。それだけ時間がかかります。逆に今保育環境は悪くなっています。育児休業を男性が数%でも取れるようになってきましたが、これからです。女男差別、ジェンダー問題、選択的夫婦別姓等々、男性社会がつくってきた問題はたくさんあります。最近明らかになってきた裏金問題もしかりですね。なので学校教育のありようをすぐに変革するのはまだまだ時間がかかりそうです。でもこどもはおとなのそれらをモデルとして見ているのです。

ただ、公立で自由な学校を作っているのは少数とのことですが、そこからも希望はあるのしょう。私立である「きのくに子どもの村学園」は理想ではあるけれど、高額なため、入学できる人たちは限られてしまいます。国や社会が変わるのはいつのことやら果てしなく思いますが、メディアが動けば少しずつでも変化していくことを願うばかりです。

こどもは素晴らしい力をもっている。この認識があるかないかで「おとな」の行動が違ってくるのです。改めて思いました。

Bさん

大学生から小学生までの子どもを育てていますが
未だ子育てに躓き悩みも絶えずな感じてした

でもそれは自分が子ども達を枠に嵌めようとしていたからなのだなっと感じました。
子どもが自分でいられる様にしてあげる事が大切だと
でもそれを履き違えて全てを自由に相手を傷つけても自分勝手にしても良いというように
思わせない様にしなくてはです。

小学校も楽しい場所、家族とは違う人達と触れ合う場所
沢山の縛りをつけて〇〇してはいけない〇〇するべき
っと雁字搦めにする場所ではなく
子どもたちが自分で居れる場所安心出来る場所であって欲しいと強く思いました。
規則で制してしまうと想像力も段々と弱くなり自分で考え行動する力も現に弱くなっていつて
しまうのでは？っと感じます。

今、子どもたちの受けている教育は一体何を
目的としたものなのだろう？お勉強が出来る？
みんなと同じ事が出来る？従える？
なんだか個性を抑えている様に感じてしまう。上の事柄も大切な事だとは思いますが。

自分を大切にし自分で考え行動していくと自分の周りの人の事も見える様になり
人を大切に出来ると思っています。この映画に出てきた
ひのくに学園やきのくに学園はそういった事を一番にした教育をしているなぁと感じました。

この映画を今先生をしておられる方
これから先生になろうとしている方達に観て貰いたいなっと強く思いました。

これを多数の学校で実現するには
今、教育にお金を出してくれない国の協力体制では平等には
難しいと思いますが。

Cさん

私自身にも中1、小3の子供がいて、この作品はずっと観たいと思っていました。

個性、個性と言われるこの頃ですが、教育の現場はこの30年くらいあまり変わっていないな、と言うのが正直な印象です。

むしろ以前にも増して、子供達はたくさんの制限を受けていて息苦しい環境だな、と親としても感じる事があります。

そんな私自身も子育ての中で安全を求めすぎたり、子供が失敗しないよう先回りしてしまったり。。

頭でっかちの子育てを多くしてしまっているなと感じています。

息苦しくさせてるのは私でもあるんじゃないか、と思う事もたくさんあります。

夢見る小学校の堀先生を始め、文化人類学者の辻先生などの言葉が今の私の心にとっても響きました。

子供を信頼して自由にやらせてあげられる事、責任は大人が取ると言う事、教育とは答えを急いで教えて覚えさせることではなく、問いこそを大切に、大人はそれに向き合う事こそをやるべき。

親としても出来ていない事だらけですが、そうありたいと思います。

きのくに学園に通う子供達を見て、生きる力って一つ一つ体を動かして考えて、疑問に思っ

て、発見して、失敗して。この経験から身につくんだよな、とあらためて思いました。

これが今の小学校の教育に一番あったら良いなと思います。

私もこんな教育を受けたかった！とも。

学校教育ってなんだろう？

学校って何のために行くの？

そんな大事な問いに私自身、何の疑問も感じずに大人になりました。いえ、少しは感じた事もありましたが、当たり前と言う言葉で片付けて考える事をしませんでした。

私は自分の子供が学校に行けないと言う時期を通して、初めてこの問いにきちんと向き合いました。

そんな中でこの作品にも出会えました。

ずっと同じやり方で来た教育制度はやはり今変わるべき時だと思います。

大人の私達がまず気づき、変わらなければいけませんね。

子供達が生き生きと楽しい学びができるには。

この映画にたくさんのヒントがあり、少しずつ変えられる気がします。

うちの子が通う学校の先生方はこの映画、観たかな??

学校で上映会をして、みんなで（もちろん子供達も）感想を話し合うなんて事もできたら良いなと思いました。子供達はどんな学校が良いと思っているのかな？

ぜひ聞いてみたいです。

Dさん

幼児の頃は園で様々な体験学習をしてきた子供達が小学校で急に全く違う環境になり、戸惑う姿を多くみてきました。

映画を見て やはりこうだね！ と強く感じました。 子供達にはそれぞれ素敵なキラキラしたところがたくさんあります。それを引き上げてあげるのが大人や社会の役目。

日本中にこういう学校が増え、それが当たり前になることができれば 未来は明るいのだと思います。

大きな意味で国や行政がどの子も平等に自分に合った小学校を選べる環境を作ってくれる世の中になるよう小さいことから私も頑張ろう！と改めて思いました。

第9号様式（第17条関係）

市民活動推進補助事業実績報告書

令和6年3月29日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地
報告者 名 称 うみこころ
代表者氏名 代表 大内 涼子

令和5年4月1日付け5茅市自第8号で交付決定を受けました「うみこころ「みんなこの地球に生きるおなじ命」～イロトリドリの命を大切に、平和をつくる～」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業実施報告書

事業名	うみこころ「みんなこの地球に生きる同じいのち ～イロトリドリの命を大切に平和に作る～」
事業の実施内容 ※実施方法、場所等を具体的に記入してください。	(練習) 回数：約30回（実施日程は、事業の日程を参照） 場所：小和田公民館 内容：歌と踊りのパフォーマンスの練習。当日一緒に踊る子どもたちも参加して簡単な振り付けと歌を一緒に歌いました。 (本番) 日時：12月9日（土）10:00開演 11:15終演 場所：茅ヶ崎市文化会館小ホール 費用：中学生以上 1,000円、小学生 500円（未就学児無料） 内容： 歌と踊りとセリフ、映像で地球に生まれる生命がイロトリドリであることを表現した物語を25分の短いミュージカルとして上演。後半はなじみのある曲で歌と踊りのLIVEを行いました。 ※物語の概要やプログラムは添付資料をご参照ください。 ※事業にかかる支出の増加や当初予定していたオンライン参加ができなくなり、その分の事業収入が見込めなくなったことに伴い、小・中・高校生からも参加費を徴収することとしました。 広報活動：宣伝チラシ(2000部)を作成し、公民館、コミュニティセンター、サポセン等で配布。また、団体HPやSNS（instagram、Facebook）を活用し周知を行いました。
事業の参加者数	230人 一般参加者数：中学生以上：127人、小学生：46人、未就学児31人：204人 ステージで踊った人数：26人
事業の日程	(練習) 9月13日(水)、9月16日(土)、9月21日(木)、9月26日(火)、9月28日(木)、10月3日(火)、10月5日(木)、10月8日(日)、10月13日(金)、10月15日(日)、10月20日(金)、10月22日(日)、10月24日(火)、10月27日(金)、10月31日(火)、11月3日(金)、11月5日(日)、11月7日(火)、11月9日(木)、11月12日(日)、11月14日(火)、11月19日(日)、11月21日(火)、11月24日(金)、11月29日(水)、11月30日(木)、12月3日(日)、12月5日(火)、12月7日(木)

	(リハーサル) 11月18日(土) 市民文化会館 (本番) 12月9日(土) 10:00 開演 11:15 終演
事業の成果と今後の展開	(成果) ・アンケートにもあるとおり、たくさんの市民の方からお声をいただき、「地球を大切にしよう。」と思っただけたり、調和することの大切さ、日々に感謝すること、違いを認め合うこと、生きることができる喜びなど、歌とダンスを通して感じていただくことができたと思います。 ・一緒にステージで踊った茅ヶ崎市の子供たちの「歌いたい」「セリフを話したい」「踊りたい」といったそれぞれの想いを叶えられたステージになりました。ダンスに参加した子供たちと想いを共有できる時間は、今がより輝く時間となり、生きる希望となり、目標ができ、未来へとつながる、とても充実した時間になったと思います。 ・茅ヶ崎市がハワイと姉妹都市ということで、“アロハエコモマイ”という楽曲を取り入れ大いに盛り上がったと感じます。また、ARTノTANEMAKIさんと出逢い互いの想いをお話し共感する部分がたくさんあり、ひとつの作品として「生命の木」を舞台セットとして提供していただく、といったコラボレーションを実現することができました。 (反省) ・当初予定していたオンライン配信について、会館にWI-FI設備がなく実現できませんでした。 (今後の展開) ・定期的に事業を実施し、一緒にステージを作っていく運営スタッフを見つけていきたいと考えます。 ・オリジナルソングは、今後も歌い続けていき、海を越えて繋がり、たくさんの方に口ずさんでいただけるような曲になってほしいと考えます。そしてイロトリドリで今を生きよう、というメッセージが届いてほしいと願います。 ・今後も活動を続けていくためにも参加費の見直しを行い、運営スタッフの人件費等について考えていきたいと考えます。

収支決算書

収入

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
事業収入	131,000	127,000	1,000 × 127名
		23,000	500 × 46名
団体収入	0	1,160	団体会費より
補助金収入	100,000	100,000	市民活動推進補助制度
	231,000	251,160	

支出

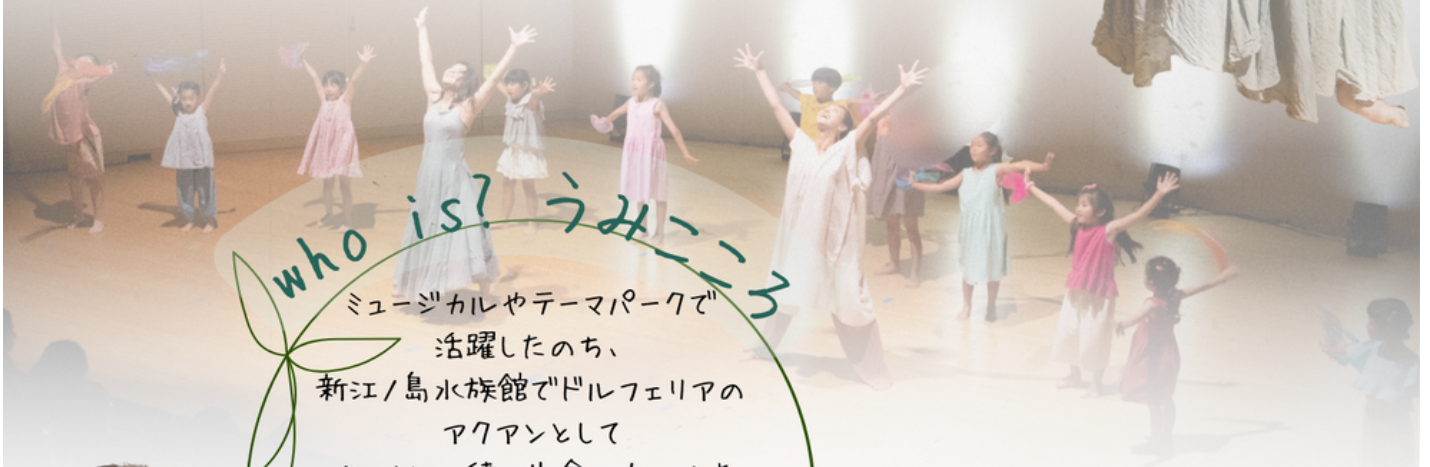
科 目	当初予算額	決算額	内 訳
委託料	100,000	85,303	オリジナル音源作成委託
謝金	76,000	80,000	当日のカメラ撮影(20,000円 × 1名 × 1回)、 舞台監督、照明スタッフ依頼 60,000円
交通費	4,000	0	
印刷製本費	7,280	7,347	広告宣伝チラシ(2000部) 5,258円、当日プ ログラム(A3 200部)、アンケート用紙(A4 200部) 2,089円
使用料・賃借料	43,720	78,510	リハーサル費用 茅ヶ崎文化会館レンタル料 16,720円、付属 設備利用料 24,410円 本番費用 茅ヶ崎文化会館レンタル料 11,880円、付属 設備利用料 25,500円
	231,000	251,160	

配布チラシ

『今』が輝き出す！生まれてよかったと感じられる

生きる喜びと
地球と共に生きる大切さを
伝えるミュージカル

「生命の木」 ～地球とわたしたちのものがたり～



who is? うみこころ

ミュージカルやテーマパークで
活躍したのち、
新江ノ島水族館でドルフェリアの
アクアンとして
イルカと一緒に生命の大切さを
歌と踊りで伝えてきた2児のママ
ryoとsanaが
“みんなこの地球に生きる同じ生命”
ということを伝える
オリジナルミュージカルを開催

12月9日(sat)

9時半受付 10時開演

茅ヶ崎市民文化会館小ホール

大人¥1,000 小学生¥500 未就学児 無料

チケットお申し込みは
こちらを読み込んで ➡

またはumikokoro2019@gmail.com



主催 うみこころ 令和5年度 茅ヶ崎市市民活動げんき基金補助事業

当日パンフレットの1部

うみこころオリジナルミュージカル

生命の木

～地球とわたしたちのものがたり～



歌うと生命が芽生え、調和の世界になるという「約束の歌」
生命の木の前で地球に1番最初に産まれた人の生命(ヒュー)は
生命の木の精霊(リラ)と生きる喜びを舞う。

しかし、次第に人の中にある欲望、怒り、悲しみによって、
2人をつなぐ「約束の歌」を忘れてしまう。

調和を失った世界は、暗闇に満ち、生命の木は枯れてしまいそうだった。
絶望の中、ヒューが口にした歌はあの「約束の歌」だった



cast

地球の声(テラ) 葵
はじまりの生命(ヒュー) Ryo
生命の木の精霊(リラ) Sana
光の生命たち(kids dancer)

凛太郎(キキロウ)、二葉(ピンキー)、
鈴(ラッピー)、日菜詩(ミント)、
帆音(エメラ)、はな(コスモ)、
ふさ(スイ)、杏(ムーラン)、愛梨沙(ローズ)、
葵(パアロ)、蒼十郎(サン)、芽衣子(メブル)、
一花(ハロ)、陽咲(レイミー)、慈郎(イーロ)

staff

作 うみこころ
振り付け・演出・脚本 Sana
きときと振り付け Sana& Kidsたち
音楽「約束の歌」 堀江 小綾
高井 城治

舞台監督 城本 真人
照明 大谷 恵理子
撮影 中村 栞奈



約束の歌

作詞 堀江 小綾
作曲 堀江 小綾、Ryo
アレンジ 高井城治



Why?なぜ? 涙をふくの? Light 今 ここに光さす

雨後(あまあと)つなぐ虹 光彩(こうさい)のまだ見ぬ色

響かせようあの声を 約束しよう

たった1つのいのち まるく繋がるしるし

ありがとう別れの時 風吹くまほろばから

ひびかせよう愛の音 約束しよう



当日パンフレットの1部

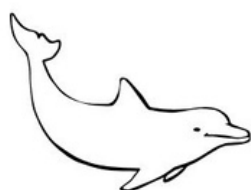
5分休憩

2部 うみこころワクワクLive

構成、振り付け Ryo



- 1.アロハエコモマイ
- 2.Under the sea
- 3.White Christmas
- 4.サンタが街にやってくる
- 5.Future World
- 6.うみとこころ



うみこころからのメッセージ



Ryo

うみこころとして活動を始めたからこそ
出逢える方がいる、触れ合える方がいる
また、変わらず応援してくださる方
そばにいて支えてくださる方
全ての方に感謝の気持ちでいっぱいです。
私も、「大丈夫！私はここにいるよ！」と、
そっと背中を押せるような心の支えでいられるような
そんな存在でありたい。
今日は足を運んでくださり、本当にありがとうございます☆



Sana

「地球の声を届けたい」変な話、
それが私たちの使命のような気がしています。
少しでも、誰かの心に伝わればいい、そんな想いで作り上げてきました。
時に、これでいいのだろうか、と不安になることも。。。
正解のない中、仕上げていくのは自分たちを信じる他ありませんでした。
きっと、ここに来てくださってる方に
何か伝わると信じて。
今日という大切な時間をここに来てくださったこと、
心から感謝します。ありがとうございます。

《生命の木感想》

- ・人間の心の中には必ず欲望怒り、悲しみがある。
- 自由がなくなったコロナの3年間は何ができるかを考えてみたその当時を思い出した
- ・感動的な歌でした
 - ・心にすごく残りました。地球を大事にしたいです
 - ・続けて頑張ってください、楽しかったです
 - ・始まって数秒で涙がこぼれた。魂が震え心が浄化された。優しい波動に癒される、感動って心が動くってこういうことなのねと感じました。本当に素晴らしかったです。地球もみんなつながっている、いのちは繋がっているし、心は繋がっている。そんなことを感じました。たくさんの人、子供達にみてほしい、広めたい！！
 - ・歌やダンスの表現がすばらしく感動しました。子供達のダンス歌が上手で可愛かったです
 - ・始まりから涙が溢れてきました、なぜだろう自分の失っているものに何かを気づかせてくれたのだと思います。演出が素晴らしかったです
 - ・地球温暖化、人と人のつながりが少なくなっている今日この頃ですがあたたかいメッセージが伝わってきてほっこりしました。平和が1番！
 - ・大事な地球をみんなで守っていくことしていきたいと思える空間でした。一人一人が感じることで生命が蘇ります
 - ・本当にお疲れ様でした！子供達がとてもうれしそうに自由に踊っていたのですごくよかったと思います。お二人の歌もダンスもとても子育てをしながらには思えない、素敵でした。生命の木でハーモニーがもう少し増えてもいいのかな。後半のハーモニーとてもすてきでした！
 - ・普段何気なく生活してしまいがちな日常ちょっと立ち止まって考えるきっかけになりました。
 - ・とてもいいテーマですね。子供達と一緒に地球の未来を考えるきっかけになりますね。大切な地球をみんなで守っていきましょう！
 - ・子供にもわかりやすいメッセージで良かったです
 - ・とても素敵なひとときでした。お二人のハーモニーもとてもきれいでした。1人1人が生命を大切に、そして楽しく生きていくことが地球への恩返しになり地球も喜ぶのだと思います。メッセージをありがとうございました
- (その他多数いただきました)

《ワクワクLive感想》

- ・2人のダンスと歌とても良かったです！息もピッタリでした、これからもがんばれ！！
 - ・楽しかったです！ダンス素敵でした。子供達が可愛かった。最後の曲とても印象的でした。
 - ・子育てしながらやりたいことをやる！今日を迎えるまで大変だったと思います。子供達に本気の大人の姿を見せるって大事だと思います。メッセージ届きました。ありがとうございました。
 - ・うみころろクリスマス最高です
 - ・すてきで一緒に歌い踊る喜びを感じました・素敵な歌声とパフォーマンス、心が癒されました。
- 手作り感が良かったです
- ・リズムが重なってすごかった
 - ・みんながとても楽しそうに歌っていて元気になりました・すごいよかった・Joyful!
 - ・子供も楽しめる内容で良かったです
 - ・子供たちもと一緒に踊っていて楽しそうでした
 - ・ダンスも歌声もとてもすてきでした
 - ・カラフル絵の具箱をひっくりかえたような元気で楽しいライブでした
 - ・子供達をひきつける楽しいライブでした
 - ・一緒に踊れてうれしかった
- (その他多数いただきました)

第 9 号様式（第 17 条関係）

市民活動推進補助事業実績報告書

令和 6 年 3 月 29 日

（あて先）茅ヶ崎市長 様

所在地

報告者 名 称 一般社団法人リトルハブホーム

代表者氏名 代表理事 岩崎 愛

令和 5 年 4 月 1 日付け 5 茅市自第 5 号で交付決定を受けました「ボランティア養成講座～子どもの現状と課題、子どもに対するコミュニケーションを学ぶ連続講座～」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業実施報告書

事業名	ボランティア養成講座～子どもの現状と課題、子どもに対するコミュニケーションを学ぶ連続講座～
事業の実施内容 ※実施方法、場所等を具体的に記入してください。	子どもの現状・社会的養護に関する課題を学ぶ講座、子どもに対するコミュニケーションスキルを学び実践に生かす講座として実施。（2回連続講座×年間3回の実施） （日程） 第一回 ①7月15日 “子どもたち”の今とこれから～貧困、障がい、不登校～ 講師：井上仁氏（元大学講師、社会的養護現場経験者） 白井宏氏（茅ヶ崎市地域福祉課） 会場：みんなの家 リトルハブホーム 茅ヶ崎 費用：500円（両日程合わせて） 講義内容： 長年子どもたちと関わり、現在学習支援や若者シェアハウスの運営などに携わる井上さんから子ども基本法や社会的養護の現場のお話。茅ヶ崎市福祉政策課で地域の子どもたちの相談を担う白井さんに福祉政策課の役割と子どもたちの現状をお話いただきました。 ②7月29日 心理士が教える子どもが安心するコミュニケーションのコツ～日常を通して育ち合い～ 講師：木内寛長氏（精神保健福祉士、公認心理士） 会場：みんなの家 リトルハブホーム 茅ヶ崎 講義内容： カウンセラーとして多くの方々と対話を重ねた心理士の木内さんによるコミュニケーション講座。自分の内側と対話し”安心”について学ぶワークショップを通して子どもとの望ましい関わり方など行いました。 第二回 ①10月14日 茅ヶ崎市の子どもたちと”子ども”の声 講師：青木幸子氏（茅ヶ崎市家庭児童相談室） 市川太郎氏（社会的養護生活経験者、社会福祉士、精神保健福祉士、社会的養護現場経験者） 会場：みんなの家 リトルハブホーム 茅ヶ崎 費用：500円（両日程合わせて） 講義内容：茅ヶ崎市家庭児童相談室青木さんより 子どもたちの現状や家庭児童相談室の役割や子どもへの適切な声かけ方法や対応をお話いただき、児童養護施設生活経験された市川太郎さんより子どもたちの育ちや気持ちの面をお話いただきました。

②10月28日 子どもが安心するコミュニケーションのコツ
講師：長田眞由子氏（精神保健福祉士、社会福祉士、精神対話士
自殺対策支援相談員）

会場：みんなの家 リトルハブホーム 茅ヶ崎

講義内容：

精神保健福祉士として長年母子生活支援施設・児童養護施設相談員に携
わる中で子どもが求めていることや子どもが生きる環境をどのように作
って行ったらいいか具体的なエピソードや how-to など、お伝えしてい
たきました。

第三回

①2月17日 子ども食堂の今とこれから

講師：神奈川県次世代育成課担当者、
茅ヶ崎寒川こども食堂5団体

会場：うみかぜテラス 1階4会議室

費用：500円（両日程合わせて）

講義内容：

神奈川県の取り組みを伺い、実際にこども食堂をされている団体さん
たちにお話しいただきました。

②3月2日 子どもが安心する関わり・コミュニケーション方法講座

講師：芦田操氏

会場：うみかぜテラス1階2会議室

講義内容：

カウンセラーさんによる駄菓子屋兼フリースクールを行っている芦
田さんに実際にこどもたちとの関わり方の how-to を学びました。

（広報について）

市民自治推進課（市内掲示板、コミュニティセンターなど）、社会教育課
（公民館、図書館など）、こども政策課、地域福祉課
茅ヶ崎市主任児童委員、民生委員、家庭児童相談室、ファミリーサポート
センター、海岸地区社協、茅ヶ崎市社協、かながわ生き生き基金、はます
かボランティアセンター、松浪包括支援センター、各回参加団体さんによ
る配布、子ども関係講座などにて配布、茅ヶ崎市内飲食店など
その他、タウンニュース、T Style、神奈川新聞などに掲載

事業の参加者数	第一回 ①13名 ②11名 第二回 ①8名 ②8名 第三回 ①8名 ②19名 合計 延べ67名（運営ボランティア・スタッフ除く）
事業の日程	第一回 ①7月15日(土)13:00～15:00 ②7月29日(土)13:00～15:00 第二回 ①10月14日(土)13:00～15:00 ②10月28日(土)13:00～15:00 第三回 ①2月17日(土)13:00～15:00 ②3月2日(土)13:00～15:00 ※全ての日程で講座修了後、16時まで交流会を設けた
事業の成果と今後の展開	（成果） すべての講座を通して、主体的に子どもや纏わる地域社会の課題を身近に感じる機会となった。（詳細はアンケートを参照） また、地域で課題認識を共有し、ロールプレイなど対話の機会を設けることで、地域に散らばる支援者同士が繋がり、継続的に関われる力となるネットワークが築かれた。 市民活動げんき基金補助事業を用いて広報活動を行い、毎回定員以上の参加者を集めることができた。 3回合わせて、参加者は67名となり、そのうち講座受講後、新たに当団体に関わりを持った方が8名いる。 また、以前から当団体にボランティアとして従事する方が11名、他団体に従事している方などが40名おり、多くの方がボランティアに興味を持っていることが分かった。 第3回目については神奈川新聞に事業の広報が掲載されたため、定員を増やし規模を拡大して開催した。 グループ分けをし、ワークショップや参加型座談会を実施することで、学ぶだけでなく主体的に参加できるようにした。 ハブとなり参加者の行動変容を促し、一步を踏み出せる学びや経験のできる場を用意することで、市民性を持ち、子どもたちや地域の力になれるステップとなる。その結果として、受講者がボランティアとして当団体内外の活動に参加することで、子どもの課題解決に向けた事業従事者の増大を目指した。

	(今後の展開) 継続的に勉強会を開催していく予定。広報については、専門的知識がなく手探りの状況での発信をしているため、関心のある方に向けての集客に苦慮した面も大きい。今後は広報媒体を専門的に行うことで、こどもの現状を知る機会を提供し、子どもに関わる人材を増やすなど関係人口を増やしていきたい。「いまの子どもたちに何が必要で、なぜ必要か。どう言った関わりが、今の子どもたちのニーズであるのか」などわかりやすく、既存の”子どもの居場所”の概念から一目置ける、画期的な広報媒体の展開を目指す。 茅ヶ崎市で子どもに関わる勉強会を継続かつ定期的を開催し、安心して子どもに関わるための学びやつながる機会を確立させることで、茅ヶ崎に安心する拠点を根付かせ、子どもも大人も安心して育ち合う街を目指す。 運営面に関しては、大口の協賛個人・団体・企業などを増やすとともに、令和6年度は特に小口の協力者を増やせるよう広報活動に尽力する。
--	---

収支決算書

収入

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
事業収入	15,000	20,000	参加者負担費用(資料代) 第一回7月 6,500円 第二回10月 4,000円 第三回2月・3月 9,500円
団体収入	291	495	会費、団体への寄附等
補助金収入	100,000	94,000	市民活動推進補助制度(返納:6,000円)
合計	115,291	114,495	

支出

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
賃金(会員外)	12,000	12,000	ボランティア謝礼 1回1,000円×12名
謝金	72,000	70,000	講師謝礼 12,000円(7/15)、12,000円(7/29) 6,000円×2人(10/14)、12,000円(10/28) 2,000円×5人(2/17)、12,000円(3/2)
物品費	13,250	20,825	プロジェクター8,499円 インク2,365円 ケーブル5,079円 木目調クリップボード1,100円、ボールペン220円 コピー用紙220円 ホッチキス220円、A4コピー用紙482円、 ウエットティッシュ440円、養生テープ220円、ボールペン110円 A4クリップボード220円、A4ボード1,100円、領収証110円 封筒110円、ホッチキス110円、クリップ110円 ラミネートフィルム110円、
印刷製本費	14,285	11,670	印刷代40円、印刷代200円 チラシ7月分:2,810円(1,000部)、チラシ10月分:2,770円(1,000部)、チラシ2月・3月分:2,770円(1,000部) チラシ印刷代3,080円(700部)
ボランティア保険	3,756	-	※市の市民活動等災害補償制度を活用することとしたため、不要とした
	115,291	114,495	

令和5年度市民活動推進補助事業 リトルハブホーム 連続講座 アンケートまとめ

【連続講座アンケート 令和5年7月15日 第1回】

●知ったきっかけ⇒SNS 4名、リトハブでの活動3名、チラシ3名、合計10名

●参加理由⇒子どもの現状や課題について学びたい、地域課題や行政の活動を知りたい

●井上さんのお話の感想⇒こども基本法についてもっと学ぼうと感じた。

子どもの居場所作りの大切さや若者を育てる事への視点の重要性を知れた。

今、社会で何が問題なのか、関連している事があまりにも多すぎて制度ばかりが出来上がっている状態であり、それをうまく社会の仕組みに落とし込むことがまたさらに課題であるということを教われた。

●白井さんのお話の感想⇒新しくできた地域福祉課について、どのような役割があり、相談ケースも知ることができ、理解できました。

しかし、継続ケースがたまると持続可能性が低下するので、地域の力が必要ではないか？アウトリーチしやすくするための仕組み作りは？

●子どもの現状や関わりについて⇒地域の子供や若者の現状がわからない。不登校の児童増加が問題（子ども自身が学校を必要としているのか？親が行かせないのか？）、社会全体がもっとゆとりを持ち、子どもが子どもらしく過ごせるようにたくさんの経験とそれを見守る大人の姿勢が大切だ。今は楽しく親子関係も、学校や習い事にも通えているが、いつどのような問題に向き合う日が来るかは、明日は我が身だと思った。

【連続講座アンケート 令和5年7月29日 第2回】

●知ったきっかけ⇒リトハブでの活動4名、SNS2名、チラシ2名、合計8名

●参加理由⇒心理学に興味があった、子どもに関わるボランティアの知識を得たいから

●木内さんのお話の感想⇒話し方が穏やかで、こちらも安心した気持ちで聞けた。

難しい言葉ではなく、わかりやすく、考えやすい空気感で居心地もよかった。

さらに人間の神経についてや宗教学についてももっと知りたいと思った。

心と体の繋がりに関心を持ったので、次は身体からアプローチする方法を知りたい。

●子どもの現状やかかわりについて⇒安心感、自分自身が安心することが大事にしている。

一緒に楽しい時間を過ごすように心がけている。

『母親が笑っていたら家庭は円満になる』と実母から言われていて、そう心掛けていますが、少し無理して生活しています。自分が無理していても、娘や主人が穏やかに過ごせるならそれでいいと思っているが、やはり家族みんな笑顔で過ごしたい。

【連続講座アンケート 令和5年10月14日 第1回目】

◎知ったきっかけ⇒SNS6名、ボランティア活動で2名、リーフレット1名

◎参加理由⇒●子どもの置かれている状況を知りたかったから。

●知識をつける為

●2人の子育てが終わり、市内にいる4人の孫の成長の手伝いととも、近所の子供達の間ハブのようになりたいと思ったから。

●娘に刺激を受けて、何か子供達のために役に立てたらと思ったから。

●地元の実情を今まで知っていなくて改めて気付いたため。

●子ども食堂の運営に携わっている為。

●子供との関わり方を学びたかったから。

●子どもとの関わりについて自身のスキルアップの為。

◎青木幸子さんのお話の感想⇒

- ほしつメソッドを改めて知りたいと思った。
- 茅ヶ崎市役所の相談できる場所(人)が明確になり、安心につながった。
- 世間での身近な日々の現状に対して、行動の仕方、思想の持ち方が勉強できた。
- 学ぶことが多くて刺激になった。一時保護などの話などに興味があったので聞けてよかった。
- 一時保護の手前で何ができるか、それが具現化できるか、、、具体的な考えに行けるといいと思った。
- 具体的な事例や状況を聞くことができ、とても有意義な時間だった。
- 母親として自分の子育てで「ほしつメソッド」の特に『ほめる』を大切にしていきたいと思った。
- 話の内容はわかっているつもりでも、改めて聞くと自分自身できていないことが多く、簡単なようで難しいなと感じた。
- マルトリートメントはとても参考になった。

◎市川太郎さんのお話の感想⇒

- 養護施設の OB、OG の方のケアの大切さと同時に具体的に何ができるかを考えていきたい。
 - 養護施設の現場や当事者の話がとても詳しく聞けたのでよかった。
 - 養護施設の話は 1 番聞いてみたかった。何か少しでも自分にできることがあったら参加したいと強く思った。本当に勉強になってよかった。
 - リービングケアの重要性の話が聞けて理解できた。当事者心理に立つことは難しいが、子ども達にとっては特に大切だと思った。
 - 児童養護施設の具体的な話を聞くことができて勉強になった。
- このような施設のことは全く無知だったので、とても勉強になった。
- 体験した人にしかわからない気持ちを聞けてよかった。リービングケアの大切さを学んだ。さらに勉強していきたいと思う。
 - 子どもの視線で施設の話が聞けて大変よくわかった。

【連続講座アンケート 令和5年10月28日 第2回目】

・**知ったきっかけ**⇒SNS 3 名、リトハブでの活動 3 名、不明 2 名、合計 8 名

・**参加理由**⇒子供と向き合う時の心構えや大人の在り方を学びたい、いろんな家庭について知りたい、ボランティア活動に活かしたい

・**長田さんのお話の感想**⇒専門性の高さがあっても、みんなにわかりやすい内容で伝わりとても勉強になった。大人が安定して、いつも居てくれる日常を私も作りたかった。子ども（人）との距離感や関わり方が参考になった。

子どもと関わる時にまず『自分の気持ちに耳を傾ける』というお話が印象的だった。

「くそババア！！」＝「ねえねえ、お母さん聞いてよ。」の翻訳は、いろいろな場面で意識したい。

・**ワークショップなどの感想**⇒さまざまな意見を聞けて、ペップトークにも活かせる点が多く感じましたが、最初は児童福祉側をしっかりと理解する必要があると思った。

“大人は楽しいよ”と体現できる大人でありたいと思った。

“自分で居ること、共にあること”は集団スポーツの根本だと感じた。

【連続講座アンケート 令和6年2月17日 第1回目】

◎県の取り組みの感想⇒

□行政としてしっかり支援してほしい。

□手厚い取り組みだと感じた

◎各子ども食堂についての感想⇒

□ただただ学ぶことのみだった。居場所づくりは参加者&主催者双方に取って大切だと思った。

□想いが伝わってきて、応援したいと感じた。

□イメージしかない状態だったが実態がわかる話が聞けてよかった。思っていたイメージが変わる内容だった。

□専門的な知識と経験を持っている方が多く感心した。

□奥が深い。

□子ども食堂で受け止めとつなぎが大切だと感じた。行政がもっと協力すべきだと感じた。

□まず現地現場を見たいと思った。

□空腹だけど、色々な理由で「子ども食堂」に行くことができない、見えない子ども達がいることを知った。

◎その他の感想や意見⇒

□サポートしていきたい。

□気持ちを形にするきっかけになった。

□このような機会があってよかった。普段関わりのない人と交流できる場所、情報交換できる場所があると安心できる。

□存続させるための課題などをもっと聞きたかった。

□様々な団体が集まって話をする機会は大切だと思う。引き続き開催してほしい。

□楽しかった。

【連続講座アンケート 令和6年3月2日 第2回目】

◎感想⇒

□mini ひまわりの活動に大変感動した。ぜひ一度行ってみたい。

□何か自分にできることはあるか考えてみたいと思う。

□人間関係を作る習慣の“さ行”を実践的に学べて色々な気づきがあった。“相手の宝箱を知ることが大切”この言葉を意識して子供達と接していきたい。

□とにかく素敵な出会いが多くてとても刺激になった。自分がぼんやりやりたいなと思っていたことがはっきりしてきた気がする。

□とても勉強になった。将来的には自分も駄菓子屋バーのようなものを立ち上げたいと思った。次回は実際にボランティアしてみたい。

□“相手の宝箱を知る”とても勉強になった。“さしすせそ”大切にしたい。

□ライフワークとして、細く長く続けていきたい。

□さ行と相づち、特に家族に対して実践したいと思った。

□連続講座に参加して自分のやりたいこと、やろうとすることのビジョンが少しずつ鮮明になったと思う。



市民活動推進補助事業実績報告書

令和6年3月29日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名称 ARTノTANEMAKi

代表者氏名 代表 栗林 大空

令和5年4月1日付け5茅市自第19号で交付決定を受けました「Family art day（ファミリー・アート・デイ）」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業実施報告書

事業名	Family art day (ファミリー・アート・デイ)
事業の実施内容 ※実施方法、場所等を具体的に記入してください。	日時：５月１４日（日）１０時～１６時 １１月１１日（土）１０時～１５時３０分 参加費：無料 対 象：子育て世代、地域の方なら誰でも参加可能、子ども３歳以上 開催地：根源（茅ヶ崎市東海岸南１－１５－２） 内 容： 子育て世代の親子向けに、地域の企業廃材を用いたアートワークショップを開催（※企業廃材とは、企業内で規格外などを理由に不要となった部品、パーツ、資材などを指します。） 会場内にいくつかのエリアを設け、企業廃材を用いて自由に造形する遊び、ロール紙に身体全体をつかって描く遊び、絵具を用いた表現遊び等を通して子どもたちの創造性を喚起する。子どもたちの自由な表現に触れることで、親の「学び」観を柔軟にする機会を持つ。 ５月のワークショップは、１０時～１６時までに時間制限なく各家族が自由に参加できるように設定。この活動を振り返り、より多くの方々に参加してもらえるように、１１月のワークショップでは、１家族１時間半の時間制限を設け、事前予約制としたことで、５月の約３倍の参加者にご参加いただく。１１月には、ワークショップ活動後に、保護者がワークショップを通して見えた我が子の姿を口頭で共有してもらい、ただ楽しむだけではなく、本ワークショップが子どもの成長と気付かなかった一面を知る教育的な機会となることを理解いただく。 ※ワークショップの写真は添付資料を参照。 広報活動：イベントチラシ(500部)、団体PRパンフレット(1000部)を作成し、各会場、市内公共施設、サポセン等で配布。 【新型コロナウイルス感染症対策】 ・マスク着用とアルコール手指消毒のお願い ・会場に入る前に検温 ・会場の窓を開放し、常に換気
事業の参加者数	５月１４日（日）：親子１２組（子ども１４名、大人１２名） １１月１１日（土）：親子３４組（子ども５４名 大人４１名）
事業の日程	日時：５月１４日（日）：１０時～１６時 １１月１１日（土）：１０時～１５時３０分 準備： ４月：スタッフの顔合わせ、準備のためのミーティング ４月～：企業廃材を提供していただく企業めぐり①

	5月：第一回開催後にスタッフ間でミーティング 6月～10月：月1回のスタッフオンラインミーティング 10月～：企業廃材を提供していただく企業めぐり②
事業の成果と今後の展開	【事業の成果】 ・保護者にとって、自由な表現を通して子育てから開放されたり、子ども達の姿を改めて捉えなおしたりする時間を持つことが出来た。 ・コロナ渦により閉塞的な場が多くなっている現状から、安全面を十分に考慮した環境において、参加者が安心して集って遊べる場をつくることが出来た。 ・企業廃材を用いたワークショップのため、茅ヶ崎市内の企業から廃材提供をご協力いただき、企業との繋がりが出来ると共に、教育/文化/企業をつなぐ機会となった。 ・今まで有料だったワークショップを無償で開催することで、活動の認知度をあげ、活動に興味のある人を増やすことができた。 ・茅ヶ崎市と茅ヶ崎市教育委員会に後援をいただくことで、市内の掲示板などで告知することができ、今までイベントに来たことがない方にもご参加いただくことができた。 ※参加者のアンケート等は添付資料を参照。 【今後の展開】 ・イベントの様子を協力企業に共有し、継続的な関係を持つと共に、新たに協力していただける企業を増やす。 ・活動の様子をウェブページや SNS に掲載し、どのような活動がなされているか、具体的なイメージを閲覧者と共有する。 ・今後は、当団体の事業だけでなく、同じ志を持つ他団体との協働を実現し、市民へより大きな価値を提供できるようにしていきたいと考えています。

収支決算書

収入

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
団体収入	10,835	9,297	団体活動費にて負担
補助金収入	96,000	77,000	市民活動推進補助制度(返納:19,000円)
	106,835	86,297	

支出

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
旅費	14,400	400	茅ヶ崎駅～藤沢駅 400円(往復)×1回
物品費	30,315	40,567	ゆびえのぐ 3,901円、ゆびえのぐ(2,022円×4)、ゆびえのぐ(2,198円×2点)、防災シート 4,818円、紙皿(1,254円×2)、ロール紙(4,972円×2)、養生テープ・粘着テープ・両面テープ 550円、白色粘着テープ 330円、除菌ウェットティッシュ 330円、クリップライト 1,958円、木工用やすり 3,744円
印刷製本費	6,120	35,330	チラシ 1,690円(A4・100部)・3,650円(A4・300部)・1,460円(A4・100部) ★団体PRパンフレット 28,530円(1,000部)
使用料・賃借料	56,000	10,000	アトリエ根源(茅ヶ崎市東海岸) 5,000円×2日間
	106,835	86,297	

○イベントの様子

大広間がメインの創作エリアとなっており、自然素材から企業素材まで揃っています。
アートワーク開始前に各エリアの説明と「こどもたち新しい一面を見つけてみましょう」と声掛けをします。



屋外では絵の具で画を描くエリアを設置。
踊ったり勢いをつけて描いたりする姿も見られました。



木工エリアも設置。大きな木材も揃えました。



杭をつくる子もいました。



暗い和室は光と影の部屋として設置。



図工の先生もお母様と一緒に



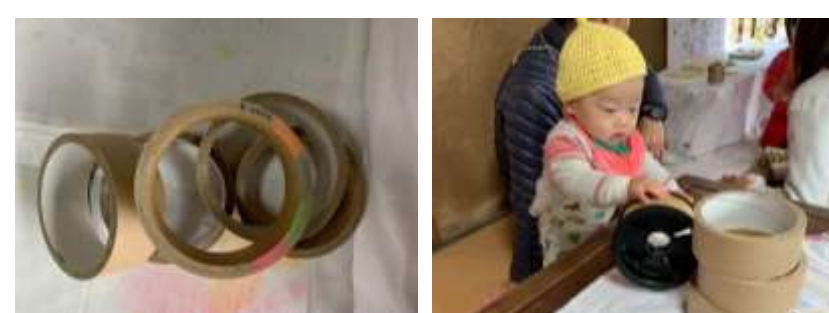
素材幕の内 好きな素材を詰めました



時間中ずっと小走りで作っていました



乳児さんも大きな素材で遊びました。



ご家族と一緒に作れたことが凄く楽しかったようです。



おとながつくったゲームキャラクターにこどもたちが飾りつけ



使用した素材の一部↓



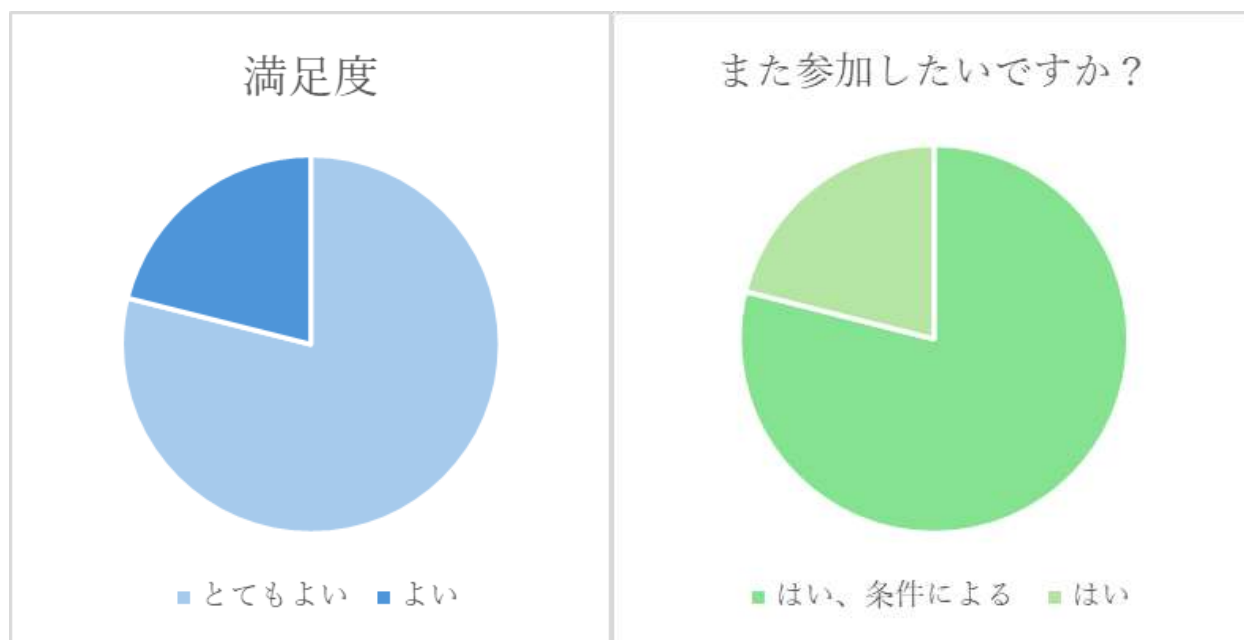
活動のふりかえりをして閉会しました



○イベントに対する参加者からの評価

「今後の活動に対しての期待はありますか？」の設問に対する主な応え

- ・無回答（１件）
- ・時間があっという間で、もう少し時間が欲しかったです。（２件）
- ・定期的にあると嬉しいです！子供がとても好きなんだ！と話しています。（その他全件）



具体的な名称を添えて〇〇市でも実施してください という声や、
図工の先生から「授業でも廃材を上手く使えないか」といった相談がありました。

現在も、今年度の実施を問い合わせる連絡があります。

満足度と次回以降の期待を実感しております。

しかし、「次回以降参加したいか」の設問には、「金額次第」の回答が一番多く、更に「１０００円までだったら参加したい」の回答が最多でした。

● 協力企業様からの評価

協力企業様への報告書を配信し、こどもたちが生き生きと創作する様子に喜んでいただきました。
全ての企業様より「引き続き協力したい」とご連絡をいただいております。

● 構成員の総括

スタッフ振り返りの場において、

- ・５月実施の反省を生かし、対策がいかせた（多動傾向のあるお子様に対する環境設定など）
- ・一部のエリアでこどもたちの様子を見守るため、他のエリアの様子がわかりにくかった
- ・準備片付けなど一部の人に負担が大きい現状を打破したい
- ・協力企業をゆっくりと増やしたい
- ・希望する参加費での運営では安定事業とならず、また助成金に頼らない事業を目指していることから、より安定した団体運営をしたく考えております。

第 9 号様式（第 17 条関係）

市民活動推進補助事業実績報告書

令和 6 年 3 月 29 日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名称 小さな教室カクツクル

代表者氏名 会長 川島真理子

令和 5 年 4 月 1 日付け 5 茅市自第 17 号で交付決定を受けました「子どもアニメーション体験教室」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業実施報告書

事業名	子どもアニメーション体験教室
事業の実施内容 ※実施方法、場所等を具体的に記入してください。	ワークショップ形式でアニメーション体験教室を開催。参加者はチラシや広報紙を活用し事前に募集した。合計4回のうち1回は、ハマミーナ茅ヶ崎サンノイチを利用して参加者の作品展示会を実施した。詳細は以下のとおり。 ■8月18日（金） 13時～17時 参加費：1,000円（8/18～19の2日合計で1,000円） 場 所：まちづくりスポット茅ヶ崎 講 師：アニメーション作家（東京造形大学）若美ありさ 内 容： 茅ヶ崎市美術館でワークショップや展示を過去開催している作家をゲスト講師としてお迎えし、導入として茅ヶ崎に関連した作品を鑑賞し、子どもたちの作品テーマ決めについて会話をしながら進め、普段使うことのない画材や画法を用いたキャラクター作り、アニメーション撮影をした。 なお、当日のアニメーション制作にあたり、会場の下見や事業内容の打合せが必要なことから、7月3日に会場見学及び事前打合せを実施した。 ■8月19日（土） 13時～17時 参加費：1,000円（8/18～19の2日合計で1,000円） 場 所：まちづくりスポット茅ヶ崎 内 容： 8月18日のワークショップを振り返り、再度それぞれが作ったキャラクターを使い参加者全員での合同作品を制作。（テーマ「海」） ■8月26日（土）（展示会） 10時～16時30分 場 所：レンタルスペース サンノイチ 内 容： サンノイチでの作品展示内容としては、今までのワークショップに参加した子どもたちのアニメーション作品を壁面にプロジェクターで上映し、場内には参加者の感想文や講師からのコメント、飛び入りでのアニメーション体験ゾーンを設置。

	■11月19日(日) 10時～12時 場 所：まちづくりスポット茅ヶ崎 内 容： スマートフォンのアプリを使ったワークショップを開催。即興コマ撮りアニメーション作りを実施した。課題の物語をはじめに提示し、グループワークをねらいとした共同作品を制作した。キャラクター作り、絵コンテ制作、撮影までを時間内に取り組むことができた。 なお、参加者について、8月の事業からの継続参加者であったため参加費の徴収は行わず実施した。 ※当初3月にもアニメーション制作を予定していたが、運営の人手不足等により事業の準備や広報手続が間に合わず実施を見送った。 ■広報活動 イベントチラシ(500部)、団体PRパンフレット(1000部)を作成し、各会場、コミュニティセンター、サポセン等で配布。 また、広報ちがさき8/1号にワークショップのお知らせを掲載して広く周知を行った。 ※当日の様子や参加者の感想などは、添付資料をご確認ください。
事業の参加者数	○8月18日/19日：計7名 ○8月26日：6名 ○11月19日：2名 合計19名
事業の日程	令和6年8月18日(金)、8月19日(土)、8月26日(土)、11月19日(日)
事業の成果と今後の展開	(成果) 当初は個人での作成を想定していたワークショップだったが、現場にて子どもたちにグループワークを促したところ、お互いの役割などを自ら考え交流し、前向きに取り組む子どもたちの姿と笑顔が見られた。これが一番の成果であったと感じる。また、一度ワークショップに参加した方が次回のワークショップにも連続して参加することもあり、事業の目的である、子どもたちが創作の楽しさに触れ、考える力を伸ばす機会を提供できたと感じる。

	(人員確保) まずは団体の負担がかからない範囲で小さなワークショップを継続して実施し、多くの子どもたちや保護者の方々と関わる機会を増やしていきたい。団体の理念と同じ方向性を持ち一緒にやってみたい人と出会う機会を作る。子どもの心を理解し、子どもに寄り添える人員を確保していきたい。 (今後の展開) 資金調達においては、ワークショップ開催時に募金箱設置などできるところから行っていきたい。 運営としては人手不足からくる不手際等を防ぐために市や有識者へ相談するなどのコミュニケーションを意識して増やそうとする。
--	---

収支決算書

収入

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
事業収入	30,000	7,000	参加費1,000円×7名
補助金収入	100,000	82,000	市民活動推進基金補助制度(返納:18,000円)
団体収入	14,909	2,422	会費、団体への寄附等、団体資金から充当
	144,909	91,422	

支出

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
賃金(会員外)	48,000	39,000	学生インターンアルバイト(6,000円×1回、3,000円×1回) アニメーションプロ作家への講師謝礼 30,000円 (交通費込み1人×1回…8月講座1回目)
旅費	9,344	9,600	電車(JR矢川-茅ヶ崎990円)+バス(茅ヶ崎駅-浜見平団地210円)片道1,200円×往復×会員1人×4回
物品費	41,669	10,194	撮影用クリップライト 10,194円(1,699円×6台)
委託費	12,000	12,000	パンフチラシデザイン料
印刷製本費	9,696	8,078	イベントチラシ(A4カラー両面500部)3,223円 ★団体パンフレット印刷代(A4三つ折りリーフ1000部)4,855円
通信運搬費	2,800	0	※継続参加を希望する方へのダイレクトメールについて、団体のSNSを活用して周知したほか、会員がチラシを運搬したため不要とした。
保険料	2,400	0	※市の市民活動等災害補償制度を活用することとしたため、不必要と判断した。
使用料・賃借料	19,000	12,550	7月3日サンノイチ利用料金2,100円 8月18日まちスポ利用料金2,800円 8月19日まちスポ利用料金2,800円 8月26日サンノイチ利用料金3,000円 11月19日まちスポ利用料金1,250円 サンノイチ備品貸出料金600円
	144,909	91,422	

当日の様子

左上) 8月18日キャラクター制作時の風景。講師を交え普段は使うことない画材や手法などを実際に手にして体験。
 右上) 初めの自己紹介の場面。
 8月24日サンノイチでの作品展示会場の様子と過去の参加者の作品上映会の様子。



作品展示会場では、ゲスト講師からのメッセージを子どもたちの作品紹介の用紙と一緒に展示し、参加したことへの振り返りや思い出となるようにした。

ゲスト講師からのメッセージ

ステキな作品と一緒に作る時間をありがとうございました。

みなさん、切り絵をつくりはじめたくらいからアイデアを思いついて、火がついたように走り出しグイグイと形になっていきましたね！

どの作品もこだわりや思いが入っていて、この世に一つしかない作品に出来上がったと思います。アイデアを形にして表現している時、人は自由になれます。まず、自分が楽しむこと！そしてみんなと共有して、楽しいと感じるクリエイティブを広げましょう。

アニメーションは1コマずつ作り上げる作業なので、制作に時間がかかりますが山を一步一步登るのと一緒で、頂上に着いた時には、登っている時には想像できなかった新しい景色を見ることがができます。もしまた迷ったら、自分の手で作りだすこと。そして楽しむことに戻って。またみなさんの作品に会えるのを楽しみにしています！



←参加者作品の閲覧はこちらから

8月18日19日まちスポ開催

[illegible]

タイトル:

777 の 0.5 6.6, 6.6

かんそう:

2000

[月] [日] つくったひと:

タイトル:

かんそう:

つくった日: 8月13日

つかった日: 8月13日

[illegible]

サイトロン

ハーパー・エニード・アグザバ

かんきょう

おひげのきょう

2月17日 つくったひと

(にせい)

タイタン:

月が過去より輝く

かんきょう:

大空と海が輝く

月 出 つくったひと: (バズ)

タイトル:

えのこまきーろは

かんそう:

おとこでーろはまきーろはまきーろは

まきーろはまきーろは

8月 10日 つくったひと: まきーろ (8さい)

写真が赤字でもグリーンでOK!!

タイトル:

江戸川カース

あらすじ(だれが、どこで、何をしてる?)
おとこはかみをひきながら
リバー・シティにきた。そこには大きな橋がある。
うしろのほうから来た人を見て、さうして

7月 9日 土曜 つくったひと: [] () さい

タクト

おまけの絵

おまけの絵

おまけの絵

おまけの絵

月 日 うきとく

タイトル:

をき田島 サーガス

ストーリー:

ある日、田島が海で泳いでいるとき、大きな魚を見つけた。それは、大きな青い魚で、田島は、その魚を捕まえた。そして、その魚を、自分の家へ連れて帰った。その魚は、田島の家に、住み始めた。そして、田島は、その魚と、毎日、一緒に暮らすようになった。その魚は、田島に、多くのことを教えた。そして、田島は、その魚から、多くのことを学んだ。そして、田島は、その魚と、一生、一緒に暮らすようになった。

月 日 つくったひと: さい (11さい)

私の名字でもアルファベットで書けるかな？

タイトル:

10月17日 サークス

かんきょう:

お天気に合わせて、お散歩に行きました。

月 日 日 つくったひと: だい

くさい

タイトル:

水会の島サーカス

ストーリー:

みんなが仲良く協力して、水会島サーカス
のストーリーです。

1月1日 ついたては、全島 (1) にい

今日の学習で学んだポイントや気づきを振り返る

タイトル:

女の子とうさぎのぼうけん

かんそう:

読み終えた感想や、気づき、疑問などを自由に書きましょう。

名前 日付 つくったひと: (川さや)

11月19日まちスポ開催

自分たちの植いた種が自由な場所に育つのをみて
感動しました。
少し寒い朝でも元気に咲き出し、花をいっぱい咲かせました。
一斉に花を咲かせることができました。

自分の家で育ててみるのもいいですね。
またこのお花畑の写真をみんなに見せたいです。
お日はあたたかいです。☀️🌸

カールは「あなたのかっこいいアニメ」
で「あなたのアニメ」を描いてくれたよ。
かっこいいアニメであなたのことを
描いてくれたよ。またアニメ

市民活動推進補助事業実績報告書

令和6年3月29日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名 称 ふるさとファーマーズ
代表者氏名 代表理事 石井雅俊

令和5年4月1日付け5茅市自第6号で交付決定を受けました「広報紙の作成と発行」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業実施報告書

事業名	広報紙の作成と発行
事業の実施内容 ※実施方法、場所等を具体的に記入してください。	環境の問題や農業の大切さ、畑や地域での活動等を広報するために HPなどでも発信しながら広報紙発行を行った。 ふるさとファーマーズ（以下、当団体）の活動報告や今後のイベント等を告知した。紙面を通して茅ヶ崎市民の皆様に農業や環境、食等に関する社会問題について発信しながら興味を持っていただき、当団体が社会問題に対してどのように取り組んでいるのかを発信、実際に茅ヶ崎里山公園に隣接している畑に来ていただき、自給率や農業、環境の大切さなど、農作業を通して学ぶ場を提供し、行動に移してもらうきっかけづくりを行った。 作成にあたり、若年層や農業に関心がない方にも伝わりやすくするために、当団体の下部組織であるジュニアファーマーズ（学生団体）の現役女子高生に記事を書いてもらい、誰にでもわかりやすい内容にこだわった。また、環境にもっとも配慮した栽培方法、不耕起栽培農家さん八一農園さん（茅ヶ崎市芹沢）や環境に配慮した音楽イベントHARVEST PARKにもご協力いただき、ふるさとファーマーズ以外の、農から環境問題を考える取り組みなどもインタビュー記事を掲載。 広報紙の配布場所として、HARVEST PARK（1万5千人来場）、茅ヶ崎里山公園、茅ヶ崎支援学校、松浪小学校、小出小学校、リトルハブホーム、PukanaLa、amediko、茅ヶ崎市役所、茅ヶ崎FM、市内掲示板で配布した。
事業の参加者数	6 0 0 0 枚配布、畑年間来場者 3 5 6 人
事業の日程	4 月 インタビュー開始 6 月 製作開始 8 月 印刷会社決定 1 0 月 広報紙完成、配布開始

事業の成果と今後の展開	広報紙が完成したことにより、活動が可視化され多くの市民へ認知が広がった。それまではネット媒体が多く20～40代中心だったが、シニア層まで幅広く畑に訪れる市民が増え、より多くの人々が畑に訪れるきっかけになった。 11月に開催された茅ヶ崎里山公園でのHARVEST PARKは1万5千人もの来場があり、代表の石井が実行委員会のメンバーということもあって約2000枚の配布ができた。また広報紙から授業依頼にも繋がり、松浪小学校、小出小学校、鶴峰高校などで農業と環境問題の授業を行い、食料自給率、地産地消、環境問題の取り組みの重要性を学生たちにお伝えした。松浪小学校、小出小学校は学校側から今後も継続的に付き合いしてほしいとの打診があり、梅田小学校には年二回、特別支援学級に向けて学校にて授業を開始が決定。次回は畑での授業を開催予定。また周辺地域の学校からもお声がけいただき、引き続き授業は継続しながら次世代へ繋げていく。 そのほかに茅ヶ崎市北側の大きな問題となっている不法投棄問題。その解決策として、月に一度“里山クリーン”に取り組んでいるが、広報紙の影響もあり、毎回50人を超える人々が活動に参加している。畑に来る年間来場者も昨年度の219人から356人に増加した。また企業にも活動周知が広がり、再生可能エネルギー会社アップデートさんから取材依頼、オーガニックソープブランド、ドクターブロナーさんからは畑でのイベント開催やコラム取材依頼。スーパーマーケットのイオンさんからはイベント開催、うみかぜテラスを運営するタウンニュースさんからは体験学習セミナー依頼、数々の企業さんとコラボに繋がった。特にドクターブロナーさんは寄付の申し出があり、第二回の広報誌作成や畑用テントや、育苗用ハウスなどを購入予定。令和6年度は設備投資を行いさらに、円滑な活動を行っていく。
-------------	--

収支決算書

収入

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
1. 団体収入	14,240	15,960	団体活動費より充当
2. 補助金収入	100,000	100,000	市民活動推進基金補助制度
	114,240	115,960	

支出

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
1. 印刷製本費	99,840	99,000	広報紙(タブロイド紙・6,000部)
2. 交通費	14,400	16,960	往復¥1,060円×4回×4人分(経路:事務所の中島～畑のある芹沢入口)
合計	114,240	115,960	



ここは本当に「農地」？

生い茂る草の中にはたくさんのお虫たちが共存しており、普段の生活では出会うことのない虫たちに出会うことができます。
新種の虫が見つかる可能性も？！



出張授業

代表の石井が各種学校へ訪問し、農業の大切さを直接講義させていただきます。



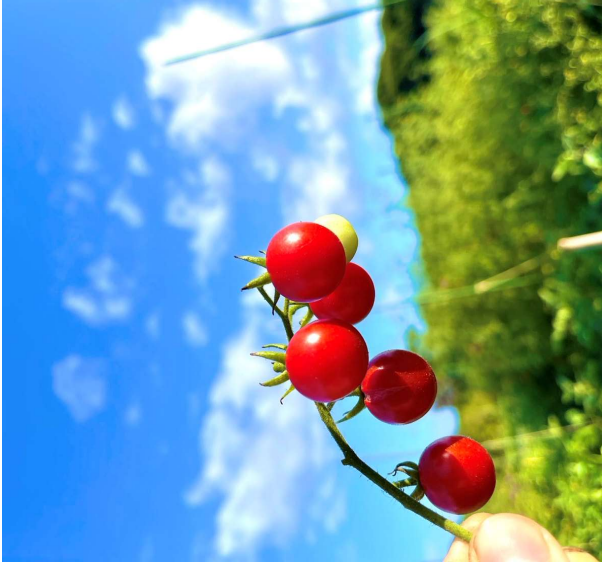
企業との連携

SDG's に興味を持たれた企業様との連携にも力を入れていきます。

Information

01 定期的にイベント開催しています

里山のクリーン活動やマルシェへの出店をしています。最新情報はHPをご覧ください。



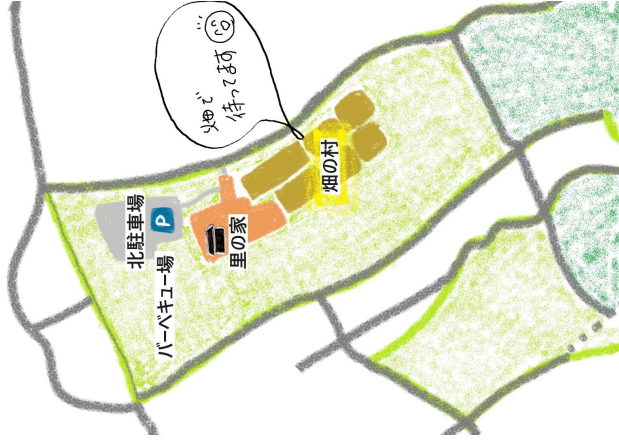
安心、安全な野菜を誰もが口にできる世の中に。

活動場所：
茅ヶ崎里山公園 隣接

連絡先：
furusatofarmers@gmail.com
(代表：石井)

02 一緒に畑作業を楽しみませんか？

若手からシニアまで、幅広い層で活動しています。お気軽にお問合せください。



不耕起栽培への挑戦 -SDG'sへの貢献へ-

農業といえば、土を耕して肥料を混ぜ込み、畝をつくって種や苗を植えることが「一般的」だ。しかし不耕起栽培では、土をなるべく動かさず、土にくぼみをつけて種や苗を植えていくのだ。土壌環境をそのままに、作物を育てていくことで土がよくなり生態系が保たれる。雑草が生えてきても根から抜かず、根を残して刈り取るのだ。自然の土を思い出してみたい。落ち葉や枯れ枝などで覆われ、土が隠されているはずだ。不耕起栽培では自然の土のように、土の表面を覆うことが重要であり、雑草を置いて土を覆う。雑草が土の表層にいる生物たちの資源になり、土の保湿にもなる。除草剤も殺虫剤も肥料もまくことなく、生態系とともに人の手で作物を育てていく。それが不耕起栽培である。



フーマーズ

行こう！ワクワクする畑へ

■ふるさとファーマーズとは

神奈川県茅ヶ崎里山公園に隣接した畑で、環境にもからだにも優しい「不耕起栽培」を行っているNPO団体、ふるさとファーマーズ。日本の食糧事情に疑問を持ち、大手不動産会社を辞め活動を始めた石井雅俊が代表を務める。年齢も性別も様々な個性豊かなメンバーが集い、「農を通して、街や人、地球環境の未来を明るくし次世代に繋いでいきたい!」という想いで活動している。畑では色々な作物を育てていて、夏に伺った時には、なす、きゅうり、ピーマン、ミニトマトといったお馴染みの夏野菜を収穫できた。中には、成長しすぎてまるでズッキーニのようなサイズのおぼけきゅうりもあった。収穫した野菜は月に1回、直売所で販売している。援農ボランティアも募集していて、学生や家族連れ、こども食堂の子どもたちなど、多様な人たちが集まる。集まるのは人だけではなく、バツタやチヨウなど、都会ではなかなか見られなくなりつつある虫たちに触れることもできる。彼らとの関わりの中で得られた畑での体験は、自分の価値観をきっと変えるだろう。



59



■ファーマーズの先生！？（ハ一農園）

茅ヶ崎市にある不耕起栽培の農園、ハ一農園はふるさとファーマーズの先生として、不耕起栽培の農法を直接教えてくださっている。畑を営むのはあきらさんとゆうさん。お二人ともとても素敵な方たちだ。

元々は従来の方法で農業をしていたが、不耕起栽培に興味を持ち、今では7反の畑で様々な野菜を育てている。育てた野菜は、お客さんの元に直送されるのに加え、直売も行っている。また2023年4月からは、野菜をつかったマフィンを販売する、81 sweets&deliもスタートした。

そしてハ一農園さん最大のプロジェクトとしてSOYSCREAM!!がある。全国各地で不耕起栽培で作られた大豆をもとに、アイスクリームを作るというプロジェクト。ふるさとファーマーズの畑でもアイスの材料になる大豆を育てている。不耕起栽培の農家さんを支援するためのプロジェクトだ。こちらについては、次回の特集としてさらに詳しく紹介する予定だ。



ハ一農園HP

<https://81farm.organic/>



■Jr.ファーマーズとは

私たちJr.ファーマーズは、ふるさとファーマーズの学生版として、「食と農、環境問題」をテーマに情報発信を行う団体だ。2023年4月に結成し、代表はヤマダ（高校3年生）が務める。

自分のできることを少しずつ

以前から環境問題に関心があったけれど、活動する勇氣はなかった。畑に行っ、不耕起栽培が地球温暖化の解決の1つの手段と知って、そしてその面白さに魅了された。畑を通して、もっとたくさんの人に現状を伝え、行動する人が増えたらいいな

まずは 畑に行っ、てみようかな。

食べ物、突然、テ一ブルの上に現われるものではありません。だから「食」についていくら勉強しても、椅子に座、ていては何もかわりませんでいた。そこでふるさとファーマーズに参加し、畑に入、てみると...

まさに 生き物の生れるところだ! とびっくり!

地球の色、地球の音、そして地球の味。

まずは 畑に来て感じてみて下さい! 待、ています。

公式Instagram (@jr.furusatofarmers)
メール (jr.farmersfurusato@gmail.com)

■美しい里山の田園風景をいつまでも残すための第一歩

神奈川県茅ヶ崎市。ビーチサイドの華やかさとは違う穏やかで美しい茅ヶ崎北側の田園地帯。そしてそのエリアが抱える不法投棄の問題。「論より行動」をスローガンに Caravan と、同じく茅ヶ崎市で不耕起栽培を営むハ一農園が中心になってフリーイベントを立ち上げる。

その名は「Harvest Park」

食と農と音楽を軸にした手作りの収穫祭。

Caravanが声掛けした素晴らしいミュージシャン達に加え、地元のファーマー達、共感を頂いた出店者様、企業様が里山公園に集うのだ。老若男女、大人から子供達、愛犬も一緒に多様な方々が多様なまま楽しめる心の収穫祭を開催する。是非、予定を空けて、お気に入りのマグやタンブラーやカトラリーを持参して参加してもらいたい。



第 9 号様式（第 17 条関係）

市民活動推進補助事業実績報告書

令和 6 年 3 月 29 日

（あて先）茅ヶ崎市長 様

所在地

報告者 名称 茅ヶ崎純水館研究会

代表者氏名 会長 日下部雅彦

令和 5 年 4 月 1 日付け 5 茅市自第 16 号で交付決定を受けました「純水館文化を茅ヶ崎市民に発信～茅ヶ崎って素晴らしい！～」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業実施報告書

事業名	純水館文化を茅ヶ崎市民に発信～茅ヶ崎って素晴らしい！～	
事業の実施内容 ※実施方法、場所等を具体的に記入してください。	『茅ヶ崎純水館研究会研究集録 2024』の作成 ① 本研究会の研究集録編集委員が自宅で編集作業を行ない、必要に応じて市民活動サポートセンターで編集会議を行なった。編集データはメールも使って、編集委員相互で確認作業をした。 ② 宮崎印刷所で印刷・製本し、令和6年2月29日に完成・発刊した。 ③ 令和6年3月に公共施設へ寄贈し、研究会員、関係者へ配布した。 ④ 令和6年3月15日付け『タウンニュース茅ヶ崎版』で市民へ集録の無料配布を知らせた。 ⑤ 令和6年3月17日に南湖公民館で茅ヶ崎市民に集録を無料配布した。 ※研究集録の概要は参考資料をご参照ください。	
事業の参加者数	100名（100部印刷） ① 20名 一般市民への無料配布 ② 14施設（18部） 図書館、博物館、美術館等の公共施設への配布、配架依頼 ③ 32名 純水館研究関係者、関係団体、関係課等へ無料配布 ④ 29名 研究会員へ無料配布（予備1冊）	
事業の日程	令和5年4月 研究集録の編集開始 令和6年2月29日 集録完成 令和6年3月 集録の公共施設への寄贈 令和6年3月15日 タウンニュースに集録の無料配布を掲載 令和6年3月17日 集録を南湖公民館で茅ヶ崎市民へ無料配布	
事業の成果と今後の展開	〈成果〉 ① 茅ヶ崎純水館研究会の2年3か月の研究成果を研究集録にまとめることができた。内容は今まで茅ヶ崎市民にほとんど知られていなかった「純水館文化」の紹介と解説である。大変多くの方々、企業、公共施設のご理解とご協力により編集することができた。 ② 掲載した図版等の著作権・所蔵権も全て許諾を受けて編集	

	できた。特に茅ヶ崎名誉市民、文化勲章受章者の小山敬三画伯のご息女から、著作権に関して、すべての作品を本研究会が使用することを許可していただいた。そのため、美術館等で小山作品を収蔵する施設から掲載許可をいただく際に、円滑に申請作業を進めることができた。 ③ 図書館、博物館等茅ヶ崎市の公共施設へ集録を寄贈することができ、本研究会の目的を達成できた。 ④ 一般市民への集録配布は、タウンニュース社さんのご協力により広く市民へ広報することができ、部数に限りがあったが無料で配布することができた。受け取った方は大変お喜びで、アンケート記入にもご協力いただいた。集録をお読みいただいた後の感想も研究会に届いている。 ⑤ 研究集録を受け取った個人、団体、施設に集録の有効活用を依頼した。 〈今後〉 ① 研究会設立時の会則では本年3月末で研究会を解散する予定だったが、研究に関する関心、反響が大きいため、3月に臨時総会を開催し会則改正を行ない、活動の継続を決定した。 ② 研究会として調査・研究を継続し、要望があれば他団体や施設等の主催による講座開催要請に応じて「純水館文化」を市民に広める活動を続ける。 ③ 純水館文化に関心を持っていただいているのは高齢者が多い。茅ヶ崎市博物館と連携して親子対象の講座を開催したことはあるが参加者が募集定員に満たなかった。若い世代や子どもたちに関心を持っていただけるような活動を模索する。 ④ 4月27日からちがさきゆかりの人物館で純水館企画展「茅ヶ崎純水館物語～糸もつくるが人もつくる～」を半年間開催する。 ⑤ タウンニュースに連載の『ちがさき純水館物語』を継続する。 ⑥ 今後も「市民活動推進基金補助事業」の申請を検討し、主催講座の実施、新たな研究集録の作成、公共施設への寄贈や市民への配布を行い、「純水館文化」を市民にさらに広く、深く知っていただく努力をする。
--	---

収支決算書

収入

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
1. 団体収入	12,655	59,500	団体資金から充当(会費・寄附金)
2. 補助金	100,000	100,000	市民活動推進基金補助制度
	112,655	159,500	

支出

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
1. 印刷製本費	104,500	159,500	研究集録 100冊
2. 通信運搬費	3,700	0	遠方送付用レターパックライト 370円×10個 ※団体収入から充当
3. 物品費	1,540	0	研究集録・案内文を入れる封筒(70枚) 1,540円 ※団体収入から充当
	550	0	配布案内、チラシ用A4コピー用紙(500枚1束) 550円 ※団体収入から充当
	2,365	0	プリンターインク代(配布案内、チラシ印刷用インク) 2,365円 ※団体収入から充当
合計	112,655	159,500	

参考資料 『茅ヶ崎純水館研究会研究集録 2024』について

2024 年 3 月

茅ヶ崎純水館研究会

〈表紙〉



〈裏表紙〉



- 1 サイズ A4 版
- 2 頁数 142 頁 カラー：46 頁 白黒：96 頁)
- 3 装幀 表紙、裏表紙のデザインは森上義孝氏（画家、当研究会員）が担当
- 4 費用 印刷代として
100 冊：159,500 円（消費税込み）
1 冊：1,595 円
- 5 内容（左の目次参照）
1 「純水館文化」関係資料（カラー版 28 頁分）

目次

1 「純水館文化」関係資料	1
2 「純水館・房全・敬三・藤村」学び講座の記録	
第 1 回『掛川國雄氏に聞く』 掛川國雄	29
第 2 回『小山敬三とその作品』 日本寿彦	42
第 3 回『小諸を訪ねて』 日下部雅彦	44
第 4 回『小山敬三と島崎藤村』 小林秀夫	46
第 5 回 シルク博物館見学会 石鍋由美子	51
第 6 回『南湖の小山敬三』 尾高忠昭	52
第 7 回『蚕と生糸』 岸一弘 名取龍彦	53
第 8 回『牛渡公海氏に聞く』 牛渡公海	57
第 9 回『純水館長小山房全の社会教育活動』 名取龍彦	60
第 10 回『気韻生動の画家 小山敬三』 中嶋慶八郎	61
第 11 回 茅ヶ崎市民文化会館緞帳『浜降祭』見学会	70
第 12 回『養蚕書と出版文化』 大野一郎	71
第 13 回『茅ヶ崎の別荘と純水館』 東哲郎	73
3 講演会の記録	
『糸もつくるが人もつくる ～純水館長小山房全の社会教育活動～』（一部） 茅ヶ崎市立図書館 名取龍彦	75
『純水館茅ヶ崎製糸所と小山敬三』（一部） 小山敬三美術館友の会講演会 長野県小諸市立高原美術館 名取龍彦	82
4 研究発表	
『純水館茅ヶ崎製糸所の再現 ～小山房全がつくった理想の製糸工場～』 名取龍彦	91
5 純水館関係年表	117
6 小山房全と純水館を巡る人々	119
7 茅ヶ崎純水館研究会のあゆみ	120
8 茅ヶ崎純水館研究会会則（抜粋）	122
9 ちがさき純水館物語（タウンニュース「茅ヶ崎版」連載コラム） 第 1 回～第 36 回	123
10 発刊に寄せて 謝辞	141

純水館に関する資料を集約しました。純水館が茅ヶ崎市民にあまり知られていないのは、資料が公になっていなかったからです。今回は関係者、団体のご理解、ご協力により資料（写真データ）を借用して載せることができました。全ての図版の著作権、所蔵権の承諾をいただきました。

- 2 「純水館・房全・敬三・藤村」学び講座の記録（46 頁分）
13 回行った講座の記録
 - 3 講演会の記録（16 頁分）
茅ヶ崎市立図書館と小諸講演美術館で行なった講演会の記録
 - 4 研究論文(26 頁分)
 - 5～8.10 純水館関係年表（8 頁分）
純水館を巡る人々 研究会のあゆみ
会則 謝辞等
 - 9 タウンニュース茅ヶ崎版に連載中の「ちがさき純水館物語」（カラー版 18 頁分）
- ◎随所に、純水館の理解を深めるための「学びの資料」（その 1～その 11）を掲載

6 冊子の一部紹介（冊子から抜粋）

【1 頁】 〈冊子の紹介文〉

本冊子は、純水館茅ヶ崎製糸所（以降純水館）、純水館館長の小山房全（こやまふさもち）および房全を巡る人々を茅ヶ崎市民の皆さまへ紹介するために編集しました。私たち「茅ヶ崎純水館研究会」では、純水館および房全が関係したことから「純水館文化」と呼んでいます。研究会が発会した 2022 年 1 月から 2024 年 2 月までの 2 年間程の研究会活動をまとめました。

【141 頁】 〈会長の言葉 謝辞〉

「純水館文化で広がる学び」

茅ヶ崎純水館研究会長 日下部雅彦

茅ヶ崎純水館研究会をスタートさせ、この 2 年間 13 回の「純水館・房全・敬三・藤村」学び講座を開催し、多くの方々にご参加いただきました。ありがとうございます。同時に講師を務めていただいた方々、学び講座開催のためにご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。

私たちは純水館茅ヶ崎製糸所からたどれる人々が作り出した文化を「純水館文化」と呼ぶこととし、それを市民の皆さまと共に学ぶために学び講座を開催してきました。この学び講座のきっかけは、研究会の会員であり、「生糸」「蚕」そして「純水館茅ヶ崎製糸所」について長年調査研究を続けてきた名取龍彦さんの講演を聞き、茅ヶ崎に素晴らしい学びの材料があることを知った感動にほかなりません。それまで、私は茅ヶ崎純水館という製糸所があったことを全く知りませんでしたし、茅ヶ崎名誉市民である小山敬三画伯のことも知りませんでした。学び講座を進めながら、長野県の小諸へ行き、本家純水館周辺を実際に見たり、小山敬三画伯の作品を鑑賞するために小山敬三美術館を訪れたりと楽しい時間を過ごすことができました。そのなかでも、小山敬三画伯の父である小山久左衛門の座右の銘『修誠』と、小山房全の評価として学んだ『糸もつくるが人もつくる』という言葉は、自分を振り返るきっかけとなりました。

小山房全を知り、小山敬三を知り、島崎藤村を知り、生糸と日本の近代化等について知ることとは、豊かな学びとなると考えます。また、この学びは茅ヶ崎への郷土愛を醸成し、一人ひとりがより良く生きるためにはどう行動するか、社会が笑顔であるためにはどう行動すべきかについて気づかせてくれるものと思います。

この冊子が多くの皆さまの手に触れることとなり、活用されることを願っています。

〈謝辞〉

大変多くの皆さまにお世話になり研究会活動を行い、本冊子を作成することができました。ありがとうございます。特に次の方々にご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。50 音順 敬称略)

饗場英利 浅沼晴光 阿部勇 有村幸三 安藤洋介 石川陽子 井出意作 井上信子
糸のまち こもろプロジェクト 上田市立丸子郷土博物館 植田知成 牛山金一

牛渡公海 大島幸子 大野一郎 岡谷蚕糸博物館 掛川國雄 加藤幹雄 工藤義房
 小林秀夫 小諸市立小山敬三美術館 小諸市立藤村記念館 小山敬三美術館友の会
 寒川文書館 椎橋忠男 清水寛美 純水館講演会実行委員会 シルク博物館
 信州味噌株式会社 株式会社タウンニュース社 茅ヶ崎市博物館 茅ヶ崎市美術館
 茅ヶ崎市民文化会館 茅ヶ崎市立図書館 茅ヶ崎市役所文化推進課
 茅ヶ崎市立南湖公民館 ちがさき丸ごとふるさと発見博物館（茅ヶ崎市役所社会教育課）
 茅ヶ崎ゆかりの人物館 月本寿彦 土屋敏幸 豊田博美 中嶋慶八郎 中嶋蓉子
 平野文明 平山孝通 廣田秀行 藤田修一 前田照勝 松澤清典 三浦克仁
 株式会社宮崎印刷所 森上義孝 森健 横浜開港資料館 横浜美術館
 そして、茅ヶ崎純水館研究会員の皆さま

【122 頁】 〈茅ヶ崎純水館研究会会則（抜粋）〉

第 3 条（目的）

本会は、「純水館茅ヶ崎製糸所」に関する学習、発信、記録、保存を通して、会員および茅ヶ崎市民に地域を愛する心（「郷土愛」）を醸成することを目的とする。

第 4 条（活動）

本会は、前条の目的を達成するために次の活動を行う。

- （1）「純水館茅ヶ崎製糸所」に関する学習会の開催
- （2）茅ヶ崎市民を対象とした「純水館茅ヶ崎製糸所」に関する講演会の開催
- （3）「純水館茅ヶ崎製糸所」に関する記録の公共施設への寄贈
- （4）会員相互の親睦

第 5 条～第 16 条 略

研究集録の発刊により、第 4 条（3）を行なうことができました。また、現在までの活動と併せて、本研究会の目的（第 3 条）の達成に近づくことができました。

7 茅ヶ崎市民への無料配布

タウンニュース茅ヶ崎版（令和 6 年 3 月 15 日（金）付）に研究集録の紹介と市民への無料配布記事を掲載していただきました。

配布日は記事掲載翌々日の 3 月 17 日（日）にしました。配布場所は、「純水館・房全・敬三・藤村」学び講のほとんどを開催した南湖公民館でした。当日は、9 時の開館時間からの配布にもかかわらず、開館前の早い時間からお並びいただき、開館時には 30 名程が集まりました。20 冊の配布、先着順だったため、この時点で 10 名程の方にお帰りいただきました。そ



タウンニュース
 令和 6 年
 3 月 15 日号

の後も配布希望者が来館されましたが、配布数が終了したことをお伝えして、お帰りいただきました。反響の大きさと純水館に対する関心が茅ヶ崎市民に広まっていることを実感できました。

有料で販売して欲しいとの声もありましたが、販売の予定はないことをお伝えしました。私たちの研究活動での使用と市民への無料配布を前提に、美術館等の関係施設から研究集録への無料（減免措置）掲載を許可いただいているためです。

配布の際にアンケートにご記入いただきました。20名全員の回答をいただきました。

○年齢

60歳代：2名 70歳代：18名

○性別

男：13人 女：7人

○製糸工場の純水館はいつ頃から知っていましたか？

ずっと前から：11人 5年～3年：3人 2年～1年：4人 つい最近：2人
一昨日のタウンニュース：0人

○純水館は何から（誰から）知りましたか？

純水館研究会員 タウンニュース 茅ヶ崎市史 学校の先生 学生時代の小諸出身の友人
実家に純水館のお稲荷様がある ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の関係者
地区の人 友人 家族 南湖公民館

○「茅ヶ崎純水館研究会」の活動は何で知りましたか？（複数回答可）

研究会が開催した公開講座（開催場所：南湖公民館、うみかぜテラス等）：7人
研究会のホームページ：2人 タウンニュースの連載コラム「ちがさき純水館物語」：17人
一昨日のタウンニュースに掲載された研究集録の紹介記事：6人 研究会の会員から：3人
研究会員以外の知り合いから：0人 その他（丸博友の会）：2人

○お渡しする研究集録について、ご自身でお読みになる以外に活用する方法は何かありますか？

家族や友人 茅小研社会科部や社会科副読本『私たちの茅ヶ崎』 地域の子どもたち話す
孫 家宝にします 友人 これから考える 亡き叔母（純水館の近くに住んでいた）の家族

8 集録を受け取った茅ヶ崎市民の方の感想

私が興味を持ったのは、タウンニュースの記事を読み始めて、ここは昔私が住んでいた近くの工場のことだと知ったからです。私が生まれたのは1944年ですから、再建された建屋群だったのです。このように立派な生糸の生産工場だったことと、素晴らしい人々が関わっていたことをこの冊子を読んでわかりました。そして震災さえ無かったらと思いました。小学校2年の時に引っ越して、共恵の高橋医院の近くに住んでいました。私の記憶では、国道の両側は土手になっていて松並木があり、南側の土手の下、工場の北側には水路が流れていました。平屋の長屋風の棟が4棟、東から西へ水路に沿ってありました。何せ7、8歳の記憶ですが、友達と土手で遊んでいて、滑り落ち、2～3人が水路にはまったことがありました。その時、なんと大きな長い家だなーと感じたものです。土手の上からは、長屋の屋根がたくさん続いていたことが思い出としてあります。当時の私の家は今の「一里塚」より東へ20メートル位寄ったところにあり、隣には森医院がありました。周りは芋畑がたくさんあり、向かい側の先の方には「日本精麦」の工場がありました。煙突と言うと日本精麦の大きなものを思い出します

研究熱心な皆様のお陰で、昔の茅ヶ崎の姿が蘇ることができました。ありがとうございました。 〈4月5日 女性〉

実績報告に関する資料

ステップアップ支援の部

No	事業名	団体名	ページ番号
1	譲渡会:保護犬を知ろう!幸せ家族探し会	湘南1Leben	P.69
2	子どもの権利を遊びながら知るコラボ学習会	ふらっと南湖	P.75
3	女性防災会議 防災ブレークスルー	マザーアース茅ヶ崎	P.85
4	スローコミュニケーションプロジェクト 小冊子制作及び音声認識の店舗実証と合理的配慮の市民周知事業	一般社団法人 4Hearts	P.95
5	①がんサバイバーのためのワークショップ とコミュニティ作り	ガーゼ帽子を縫う会	P.103

市民活動推進補助事業実績報告書

令和6年3月29日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名称 湘南1 Leben

代表者氏名 会長 古知屋 友里

令和5年4月1日付け5茅市自第23号で交付決定を受けました「譲渡会：保護犬を知ろう!幸せ家族探し会」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業実施報告書

事業名	譲渡会：保護犬を知ろう！幸せ家族探し会
事業の実施内容 ※実施方法、場所等を具体的に記入してください。	譲渡会：当施設で保護している犬の里親探しをしつつ、啓蒙活動（パネル展示）を行う。 組み立てサークルで犬を入れるエリアを複数設け、その周りを来場者が回りながら犬を見てスタッフと相談をする。 啓蒙活動は、周囲に看板や情報パネルを立て、犬の飼育方法や保護犬とは何かについて知らせる。 譲渡会の他に、毎日の犬の世話と全国の犬の保護状態の情報交換。SNS などを用いた活動の様子広報を行った。 場所：ペットフォレスト茅ヶ崎店 茅ヶ崎市役所広場 第一カッターきいろ公園（茅ヶ崎中央公園） ボランティアスタッフ 15～20 人程度参加/回
事業の参加者数	来場者数 譲渡会は各日程 30～150 人 わんにゃんマルシェは 1500 人程度
事業の日程	○ペットフォレスト譲渡会 11：00～15:00 5月27日（土）しつけ教室あり 6月11日（日） 7月9日（日）しつけ教室あり 8月20日（日）縁日あり 9月10日（日）しつけ教室あり 10月8日（日）しつけ教室あり 12月10日（日）しつけ教室あり ○市役所前広場ナイトマルシェ 15:00～20:00 9月2日（土）保護犬2頭参加 ○わんにゃんマルシェ 10:00～15:00 11月5日（日）しつけ教室あり
事業の成果と今後の展開	・購入したサークルやパネルのおかげで、安全に保護している犬を来場者に見ていただき、令和5年度は31頭の犬に新しい家族を見つけることができた。 ・譲渡会を運営するための物品を効率的に管理するための整理ボックスや折り

	畳みテーブルの購入で、他方から借用する必要が減り、さらに円滑に活動が進められた。 ・里親募集の犬の写真を用意するラミネートフィルムも大変役立った。 ・落ち着いて参加させるための犬のおやつも効果的で、犬達のおやつシーンを来場者、特に里親希望者の方に見て頂き、譲渡に繋がる事が出来て大変ありがたかった。 ・活動を知らせるパンフレットは、カラーで見やすいものができ、大変好評で活動の助けになった。 ・狂犬病ワクチンの接種費用の補助で、団体の運営への負担が減少した。 ・また、散歩に関連するハーネスやリードを更新した事で、使用中で劣化したり破損したりする物が交換できたので安全な散歩や人馴れトレーニングが実施でき、里親さまたちにも安全な散歩の方法を伝えることができています。 ・パネルでの啓蒙活動により、保護犬に対する認知度を効果的に高められたので、今後も1頭でも多く里親へつなげていきたいと考えている。 ・市民活動推進委員会から指摘があった運営の安定化（団体の法人化）については、会計書類や活動計画や報告を提出しやすい形に整え、団体役員の選出などを行いながら規約内容を見直し中である。設立時期は未定だが、その方向に近づけている。
--	--

収支決算書

収入

科目	当初予算額	決算額	内 訳
1. 団体収入	64,936	60,290	団体資金からの充当
2. 事業収入	70,000	70,000	募金
3. 補助金収入	500,000	500,000	げんき基金より
合計	634,936	630,290	

支出

科目	当初予算額	決算額	内 訳
1. 賃金（会員外）	40,500	39,000	アルバイト代
2. 謝金	120,000	120,000	しつけ教室の講師への謝礼 20,000円×1人×6回
3. 旅費	43,308	60,300	往復交通費（中赤羽根－戸塚駅） 960円×2人×9日 17,280円 往復交通費（中赤羽根－平塚駅） 880円×1人×9日 7,920円 往復交通費（中赤羽根－公会堂前） 1,340円×1人×9日 12,060円 往復交通費（中赤羽根－大船駅） 880円×1人×9日 7,920円 往復交通費（中赤羽根－馬渡） 1,680円×1人×9日 15,120円
4. 物品費	287,908	269,690	ラミネートフィルム 1,973円 タープテント 11,800円×1個 アルミスタンド3個 23,940円 ワークテーブル3個 27,200円 スリッリード20個 32,568円 サークル13,414円×4個 53,656円 収納ボックス5個 6,135円 ハーネス20個 52,880円 プリンターインク 14,720円 犬用おやつ 44,818円
5. 印刷製本費	36,970	36,700	会紹介パンフレット 10,000枚
	15,000	15,000	デザイン料
6. ワクチン代	91,250	89,600	25頭合計
合計	634,936	630,290	

購入物品使用報告書

1	物品の名称	取得日	取得価額
	ワンタッチタープテント	2023年10月30日	¥11,800
	使用方法		
	屋外での譲渡会実施の際に雨や風、日光を避けるために使用。犬の負担軽減とともに、ボランティアスタッフや来場者の疲労も少なくなった。また、離れたところからも当団体の活動場所を見つけやすくなった。購入の個数が予定よりも減少したのは、希望した物が欠品し対応を検討している中で現物の支援寄付が届き、それで代用したため。		
2	物品の名称	取得日	取得価額
	犬サークル	2023年4月3日	¥13,414
	使用方法		
	譲渡会の際に、保護している犬を一時的に入れておくために使用。高さがあり、頑丈な作りで安全に実施できた。また、組み立ての方式に自由度があり、その都度入れる犬の大きさや頭数で大きさが調節できた。		
3	物品の名称	取得日	取得価額
	使用方法		

- 備考 1 使用方法欄には、取得した物品をどのように使用したかを、具体的に記述してください。
- 2 「ユーザー登録」を必要とする物品を購入した場合は、団体が登録し、登録したことがわかる書類を添付してください。
- 3 購入した物品の写真及び物品を使用していることがわかる写真を添付してください。



アルミスタンド



ハーネス

スリップリード



タープテント



収納ボックス



テーブル



サークル



市民活動推進補助事業実績報告書

令和 6 年 3 月 29 日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名称 ふらっと南湖

代表者氏名 代表 松本素子

令和 5 年 4 月 1 日付け 5 茅市自第 11 号で交付決定を受けました「子どもの権利を遊びながら知るコラボ学習会」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業名	子どもの権利を遊びながら知るコラボ学習会
事業の実施内容 ※実施方法、場所等を具体的に記入してください。	「D 子どもの権利って何？」として、社会的養護と関わりが深い「戦争」を考えるイベントを実施した。 さらに今年度は、大きな「ジャニーズ喜多川による性加害問題」が社会的な大問題となったこともあり、このタイミングに「E 性教育で相手（パートナー）を大切にする」を西さん（助け未来21）と協働することで深めることが出来た。 当初企画していた「A フレンドホームって！？」、「B 未来を切りひらくためのロードマップ」と「C お金と自分を見つめる 勉強会」は、コラボ相手との調整が上手く行かず実施を見送ってしまった。団体内での役割分担等、今後の課題としていきたい。実施したイベントの詳細は以下のとおり。 D 子どもの権利って何？ 日時：8月15日（土）14時～16時 対象：全ての年代の方々 場所：南湖会館2階ホール 講師：平和を考える茅ヶ崎市民の会 小室光さん 内容： 子どもの権利や社会的養護と関わりが深い「戦争」を題材に事業を実施した。「おかあさんのうた」の紙芝居を小室さんが話してくれて、その後、「平和を考える茅ヶ崎市民の会」の方々を含む参加者とミーティングを行った。紙芝居の歴史や戦後すぐの茅ヶ崎の様子、戦争体験者である親世代の話も聞いた。フレンドホームで来ていた子どもたちも参加した。様々な年代の参加者がいて、20代と70代の交流などが生まれて有意義なイベントとなった。 E 性教育で相手（パートナー）を大切にする ①「性教育のこれから」 日時：10月11日（水）19時～22時 対象：大人 場所：チガラボ 講師：西かほり（助け未来21）、ふらっと南湖 内容：西さんはPPTに「精についての課題」をまとめ、「子どもの安全基地はどこが適切か」等を議論した。松本は子ども自身が気づくためには、子ども自身が「されていることへの違和感」を感じて言葉にできるよう「プライベートゾーン」や「イヤだ！」の発言が大切であることを絵本から紙芝居を作り直して発表し、南湖ハウス通信でも伝えた。

	②「性について語ろう」 日時：11月7日（火）19時～21時 対象：大人 場所：チガラボ 講師：西かほり（助け未来21）、ふらっと南湖 内容： 男性も加わり、対話で「自分たちの家庭や生き立ち」を共有し「家族や家庭で何を大切にしてきたか」また、「男女の漫画での性描写の違い」から日本人の性意識の男女格差についても話し合われた。何よりも大事なことは「性について、大人が恥ずかしがらずに話題にしていくこと」であることが見えてきた。 ③「トラウマって、な～に？」 日時：3月23日（土）13時30分～15時30分 対象：大人 場所：松林公民館 講師：西かほり（助け未来21） 費用：200円（資料代） 内容： 子どもの頃の性虐待は、大人になっても終わらない。前半は、「性被害・性虐待のトラウマの影響」について、西さんの家系図と時系列表を示しながら、松本が西さんに質問し、「トラウマの実態」を対談形式で掘り下げ、説明してもらった。なかなか分かりにくい「心療内科とカウンセリングの違い」や「精神的な大きな波」について、エピソードを入れて分かりやすく説明してくれた。後半は、「二次被害について」として、声かけのタイミング、当事者への理解について、西さんから「親を悪く言うものではない」などの「常識の押しつけ」に苦しんだ話や、ジャニー喜多川による性被害の被害者の二本樹顕理さんのSNSによる二次被害の話を紹介した。
事業の参加者数	「D 子どもの権利って何？」 ・8月15日 13名（内訳：10代2名、20代3名、40代1名、50代1名、60代2名、70代4名） 「E 性教育で相手（パートナー）を大切にする」 ・10月11日 「性教育のこれから」 参加者 12名 ・11月7日 「性について語ろう」 参加者 4名 ・3月23日 「トラウマって、な～に？」 参加者 11名 合計 40名
事業の日程	「D 子どもの権利って何？」 ・8月15日 14時～16時 「E 性教育で相手（パートナー）を大切にする」

	・ 10月11日 19時～21時 ・ 11月7日 19時～21時 ・ 3月23日(土)13時30分～15時30分
事業の成果と今後の展開	(事業の成果) 「性（教育）」については、男女の性に対する意識や認識の違い、諸外国との違いと遅れ、本来、学校教育ですべき性教育や子どもの人権などの知識が十分に伝えられていないことが、実施した事業や参加者の感想から分かった。クローズされた日本の教育や一般人の意識が性に関する犯罪や事件の背景にあるのではないかと考える。相手へのリスペクトは性行為の基本で、それが無いところで支配や暴力が行われていることも分かった。 今回、性のことを発信するに当たり、様々な文献を読むことで、自分自身の無知や無関心だったことにも気づくことができた。事業を通じて、身近な人と敢えて「性について語り合う」きっかけを作れたことも成果の一つだと感じる。 大きく報道された「ジャニーズ問題」で「性教育」の必要性がよりクローズアップされ、タイミングよく西さんと再会したことは運命的だったと思う。「性」については、本来先進諸国同様に、学校教育ですべきことだが、日本では当分期待できないので、社会教育で地道に続けていく必要があると考えている。 ※参加者のアンケート結果は参考資料をご覧ください。 (反省点) 今年度は「他団体とのコラボ」をテーマに企画したが、相手のあることで、ふらっと南湖のペースで行うのが難しかったのと、最初の計画の精度が甘かったことは否めない。 市民活動げんき基金補助事業で支援いただいている活動は、団体活動の一部なので、全体としては、市内の児童養護施設のフレンドホームの実行と啓発等、課題がたくさんある。 (今後の活動について) 事業を通じてジャニーズの性被害者ともつながったので、活動を応援していきたいと思っている。「子どもが自ら気付くことの大切さ」は段階的な学校教育が最も有効なので、まずは社会教育として子どもから大人まで性について共に学べる機会を作っていきたい。 げんき基金の支援をいただいて3年になるが、立ち上げ(2021)、勤労市民会館での発信(2022)に続き、今年度の「コラボ開催」は、他の素晴らしい活動を知る機会になり、団体単独でやるより協働で活動する方が刺激もあり、しかも孤立せず、楽しく開催できることがわかった。来年度以降も「協働開催」をなるべく模索したい。 毎月発行している「南湖ハウス通信」は、情報収集した中から「これは多くの市民に伝えた方がいい」ということや、本や新聞を読んで「社会問

数年前までは私は無意識だったが、「市政は生活」であることがわかってきた今、市民に「自主性の大切さ」や「市議や行政にはたらし続けることの大切さ」を言い続け、小さい行動を積み重ねて行きたい。

収支決算書

収入

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
1 団体収入	21,780	12,788	団体会費より
2 事業収入	13,500	2,200	200円×11名
3 補助金収入	79,000	33,000	市民活動げんき基金補助(返納:46,000円)
	114,280	47,988	

支出

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
謝金	75,000	20,000	3/23 1名 20,000円
旅費	10,000	2,100	・バス(茅ヶ崎駅-室田小学校入口)片道210円×往復×会員1人×1回 ・バス(茅ヶ崎駅-室田小学校入口210円)+バス(茅ヶ崎駅-仲町210円)片道420円×往復×会員1人×2回
物品費	9,600	16,650	マルチカラーコピー用紙・文房
印刷製本費	13,000	6,238	★南湖ハウス通信等印刷代、資料印刷代(3/23)
使用料・賃借料	6,680	3,000	チガラボ使用料(10/11、11/7)
	114,280	47,988	

性教育で相手（パートナー）を大切にする

松林公民館でのイベント「トラウマって、な〜に？」アンケート結果

アンケート より	・このような場を作ってくれたことに感謝します。 ・西さんの言葉が全て自分に当てはまりました。自分もゆっくりやっていこうと思いました。 ・すべての人に「当事者の話」を聴いてほしい。 ・「わかる〜！」って思いながら聞いていました。 ・「親を悪く言うもんじゃない！」に私も傷つきました。 ・「いろんな背景の人が今回きているんだな」と思った。 ・子どもが「この人なら話せる」と思える大人になることの大切さ。 ・子どもは見ています。どんな大人かを。 ・「感情にフタをして生きて来た」こと。その数十年後にトラウマを発症するということ。 ・白黒思考になってしまう。 ・「加害者の研究が必要」ということ。 ・つい、言ってしまいそうなことが相手を深く傷つけてしまうことがある、それが怖いと思った。 ・イメージしやすいエピソードをたくさんお話しいただけた。 ・二次被害については起きてはならないことだと思います。特に SNS についても。 ・一人一人の意識を変えていかないと！ ・「男性は変わらないから、女性が変わらなきゃ！」という言葉が印象的だった。 ・海外の取り組みを学習していくのも良いと思った。 ・回復の過程などの話を共有できたので、一人で悩むことはないと思った。 ・私は「色々な問題は、人とのつながりで解決できるものがある」と考えていて、日々の声掛けやあいさつで安心な社会になっていけたらと思う。 ・当事者でないと本当の理解は難しいと思った。でも寄り添うことはできそうなので、話を聴く機会があれば真剣に取り組みたい。 ・自分自身が恵まれていることを改めて感じました。知ることができて、良い機会をいただきありがとうございました。  
---------------------	--

南湖ハウス(ふらっと南湖)の活動

2023年度の南湖ハウス活動の報告に当たり、活動の全体の中で、げんき基金の占めるところをお伝えしようと思います。

今年度は、げんき基金の応援をいただいて3年目になります。1年目の「子どもとワークショップ×お話勉強会」、2年目は主に勤労市民会館での「子どもの権利を知ろう、学ぼう！」をシリーズ開催、そして、3年目の今年度は、思いの近い他団体とのコラボ開催を企画し実行してきました。

南湖ハウスは、げんき基金以外の活動も行っておりますので、団体としての今後の方向性もお伝えしたいと思います。

現在進行中の日常の活動

① 大人の勉強会：早稲田里親研究会とのコラボ勉強会

茅ヶ崎市民の方にもメーリングリストのご紹介をして、情報共有をしています。会員になっていただいている方も複数います。

② 赤ちゃんの発達サポート教室：理学療法士の宮崎さやかさん主宰の教室

月1回の教室の開催場所として南湖ハウスを使ってもらい、ランチを提供しています。ママたちの交流の場とホッとできる場になっているようです。

③ 戦争を忘れない活動：今世界では大きな戦争が2つも行われ終わりが見えません。日本も大戦の記憶が薄れゆく中で、戦争への意識を忘れないことが大切です。

④ 趣味の会：地域の人との交流の場として、手芸、お茶会、古着の交流、ハンドマッサージ、占いなど活動を展開したい人のチャレンジの場になっています。

⑤ お料理教室：食は生活の中でもコミュニティ形成の上でも大事な行事です。楽しみながら、みんなでいただくことで、安心が広がり、関係が深まります。また、栄養や買い物する場所などの情報交換も生活に活かします。

⑥ ファミリーサポート：代表は、支援会員として複数の家族から依頼を受けています。依頼内容によっては夕食をお子さんと共にしたり、保護者のお迎えまで南湖ハウスでお子さんと一緒に遊んだり絵本を読んだりしています。支援会員が不足していると聞いているので、知人に伝えたところ、3人の方が新たに支援会員になってくれました。これからもファミリーサポートの広報をしていきたいと思います。

⑦ フレンドホーム：フレンドホームは、季節里親とか週末里親とも呼ばれていて、松本が16年続けてきた活動でもあります。南湖ハウスのスタッフでもある元里子が、毎月児童養護施設を訪問し、ボランティアで子ども達との関係を築き、8月と1月の盆暮れの2回、1週間子ども2、3人を預かりました。このフレンドホーム制度は、社会的養護を必要とする子どもにとって、社会に出た時の不安解消にとってもプラスなので、早稲田里親研究会と協

働いてリーフレットを制作し、ロビー活動をしています。

⑧ **その他:**南湖ハウスは、柔軟に新しいアイディアを取り入れ、試し、実践していきます。

※南湖ハウスの運転資金は、上記の活動をする中でいただいたお金で運営しています。

げんき基金活動

以上のように様々な日常の活動をする中で、市民に意識してもらうべき取り組みに、げんき基金の助けを借りて活動しています。今年度も「講師謝礼と南湖ハウス通信発行」に使わせていただきました。

毎月発行している「南湖ハウス通信」は、情報収集した中から「これは多くの市民に伝えた方がいい」と思うことや、本を読んで「社会問題として考えましょう」という課題を活動報告の中で伝えています。2023年9月号（Vol.25）からはA4紙面を両面刷りにして、より詳細に情報発信しています。

たまに通信をご覧になっている方から「毎月読んでるよ」とか、「引っ越したばかりで、お邪魔してみたい」などの声掛けをいただき、年数回ではありますがご訪問いただく方もいます。浜見平の「まちすぼ」や図書館、市役所の玄関の開架を確認した時も数枚を残して手に取っていただけているので、それを励みに通信での報告と発信をしています。

また、事業としては、「性教育」について集中して活動しました。来年度も引き続き「性」についてあらゆる角度から話題にして、“男性も参加しやすい会”を作っていきたいと思っています。

性を学ぶことの目標は、男性と女性が互いの特長を知り、リスペクトし合い、分離でなく、お互い様に譲り合い、楽しく生活すること。平和で穏やかな人生を送ることです。社会的養護の子どもを身近に感じて来た立場から言えば、「家庭が子どもの意に反して壊れた経緯があるはずで、その原因を探り、子どもにとって穏やかな気持ちで生活するには何が必要かを考え、壊れかけている家庭へのアプローチ（いい意味でのオセッカイ）は地域社会で最も必要とされていることです。「子ども真ん中社会」とは、大人がオセッカイを通して乗り越える問題です。身近な地域から安心で顔の見える関係をつくっていかれたらと思います。

2024年3月(2023年度)

ふらっと南湖

代表 松本素子

市民活動推進補助事業実績報告書

令和 6 年 3 月 29 日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名称 マザーアース茅ヶ崎
代表者氏名 代表 山田秀砂

令和 5 年 4 月 1 日付け 5 茅市自第 13 号で交付決定を受けました「女性防災会議 防災ブレークスルー」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業実施報告書

事業名	女性防災会議 防災ブレークスルー
事業の実施内容 ※実施方法、場所等を具体的に記入してください。	「女性防災会議」とは、働き世代の男性がいない昼間の災害発生を考え女性達の生活の中から育まれた知恵や繋がりを防災に活かすための会議であり「心理的安全性」を確保した女性達だけの会議形態です。そして女性ならではの視点からの突き抜けたアイデア「ブレークスルー」に期待するものです。 以下、令和5年4月からのげんき基金の「女性防災会議 防災ブレークスルー」の実施報告となります。 ○6月27日（火）10:00~13:00 テーマ：2023年「女性防災会議・防災ブレークスルー」 場 所：カフェ・セフィロス 人 数：12名 費 用：1,000円 内 容： ＊防災食レシピ「平時の常備食が災害時は防災食に」 講師：茅ヶ崎市 MICHI プラネット ＊障害を持つ人の家族が思うことを本音で 講師：NPO 法人 湘南ふくしネットワークオンブズマン ＊被災後の女性の復興力・国の支援・住宅の再建やローンへの支援、茅ヶ崎に災害が起こったときの現状 講師：特定非営利活動法人日本危機管理士機構 危機管理士2級（マザーアース茅ヶ崎） ○9月13日（水）10:30~14:30 テーマ：2023年「女性防災会議・防災ブレークスルー」 場 所：海岸地区北5丁目個人宅 人 数：10名 費 用：300円 内 容： ＊防災食レシピ 被災時の食卓でも味を追求 講師：料理研究家 電気鍋一つでここまでいける？ ＊水の研究 災害時の河川に起こる問題 講師：水の浄化装置研究家 ＊被災後の女性の復興力・国の支援・住宅の再建やローンへの支援、「心理的安全性とは？」社会を変える力を持つ？ 講師：特定非営利活動法人日本危機管理士機構 危機管理士2級（マザーアース茅ヶ崎）

○ 10月7日（土） 13:00～14:00

テーマ：2023 年「女性防災会議・3 つのお約束」TUNAGU フェスタ

場 所：市役所中庭 イベントテント

人 数：30 名程度

費 用：無料

内 容：

*子ども連れの保護者に向けて紙芝居的に〇×クイズを出す

*茅ヶ崎市の災害危険度と学校の行き帰り・家の中・その時どうするかなど

*最後にマザーアース茅ヶ崎からの提案として「3 つのお願い」

講師：特定非営利活動法人日本危機管理士機構 自然災害危機管理士（マザーアース茅ヶ崎）

○ 11月28日（火） 10:00～12:00

テーマ：2023 年「女性防災会議～避難所運営は女性が鍵？」

場 所：PGC 会議室

人 数：10 名

費 用：300 円

内 容：

*ペットの避難所どうなっているのか？

講師：動物飼育管理士・海岸地区防災安全部会長

*災害関連死とは？ コミュニターの喪失を防ぐには？

*避難所開設運営を実施した中から見えてきたもの

*「あらゆる会議にはアンガーマネジメントが必要」

○ 2月6日（火） 10:00～12:00

テーマ：2024 年「家族防災を考える・女性防災会議」

場 所：茅ヶ崎市民文化会館

人 数：参加 9 名（zoom 参加 12 名）

費 用：500 円

*防災士のリュックの中身は？ 防災食の種類と用途

講師：防災士 古島まこ

*フェーズフリーってなに？

講師：CAMMOC LOO キャンプコーディネーター

*被災後の女性の復興力・国の支援・住宅の再建やローンへ支援

講師：特定非営利活動法人日本危機管理士機構 危機管理士 2 級（マザーアース茅ヶ崎）

○ 2月17日（土）

テーマ：2024 年 みんなの防災展「女性防災会議ってなに？」講話

場 所：茅ヶ崎市分庁舎 6 F

	人 数：60 名程度 費 用：無料 内 容： ＊茅ヶ崎市主催令和 5 年自主防災活動事例共有会で「女性防災会議の趣旨・目的・今後」をプレゼン
事業の参加者数	○ 6 月 2 7 日（火）12 名 ○ 9 月 1 3 日（水）10 名 ○ 1 0 月 7 日（土）30 名程度 ○ 1 1 月 2 8 日（火）10 名 ○ 2 月 6 日（火）21 名（対面 9 名、zoom12 名） ○ 2 月 1 7 日（土）60 名程度 無料
事業の日程	○ 6 月 2 7 日（火）10:00~13:00 ○ 9 月 1 3 日（水）10:30~14:30 ○ 1 0 月 7 日（土）13:00~14:00 ○ 1 1 月 2 8 日（火）10:00~12:00 ○ 2 月 6 日（火）10:00~12:00 ○ 2 月 1 7 日（土）13:00~16:00
事業の成果と今後の展開	市民活動を始めて数年が経過しますが、地域活動等において“方向性を決める場に女性が参加出来ていない”という現実があり、それは女性の心理的安全性が確保されにくいことに繋がると考えます。 こういった現状では組織は何も変わらず、有事の際に求められる本物の利他的行動を促すため、5 年ほど前に「女性防災会議」を発案し企画を練ってきました。 （事業の成果） 「女性防災会議」を開催するたびに、女性達が自らの心と知恵を使い“新たな知識を腑に落とし自分事にしてくれている”と実感が持てた事です。 ・イベント後にお話しに来て下さる方が 3 名以上必ずいる ・「家族、友人、知人にも共有したい」と配布資料を多く持って帰られる方が必ずいる ・途中々に質疑応答を入れているのですが、時間が心配なくらいご自分の意見や質問が活発にでる ・ご意見が、同じ事を感じていました・全く知りませんでした・皆が知るべき内容だと思うので次回はいつですか？・・・など前向きで、その後に別なイベントに繋がる事もありました ・参加者の方々は防災に興味がある筈ですがそれでも必要な情報が入っていないと確信出来たのは大きな成果であり、今後変えてゆくべ

	き方向と方法が見えてきたと感じています。 今、全ての人に必要なのは「心理的安全性が確保された中で新しい知識を吸収して行く場」ではないかと考えます。それは今までのように一方的な講義を受けるのではなく少人数（10名程度）の中で考え発言し「思いを渡し合う作業」だと考えます。 そういった他者との対話を通じて、初めて「自分事に落とし込むことができる」と確信する事ができました。 （今後の方向性） ○少人数で、新たな知識に対しての感想と意見交換を充実させる ○CG ビデオ映像で災害を実感する事が必要 防災を楽しく学ぶは子どもへのアプローチ、大人であり少なくとも守る者を持つ立場の人は実態を受け入れる事が必要と考えます。 楽しい防災はもっと楽しい事があれば忘れてしまいます。 ○災害の実態を本気で知る、対策方法は1人1人が考え工夫と楽しみを加えながら他の人にも実行して貰えるような方法を考える・・・それが府に落ちて自分事になった防災行動「生きる力」と言えるのではないのでしょうか。 ○令和6年度は、この2年間の中で学んだ事、確信になった事を軸に地域の自主防災組織・学校へのアプローチに力を入れていきたいと考えています。「特に学校防災」は重要であり実態調査をスタートさせました。 ＊学校防災アンケートの「預ける側（保護者）233件」「預かる側（学校など）46件」回答を基礎に新たな改革の道を見つけていきます ○すべての組織が実態に添った新たな骨組みを考える時期に来ていると感じています。行政とのコラボ・地縁団体とのコラボなど、より広い視野と他世代交流には欠かせない取り組みだと考えています。マザーアース茅ヶ崎は今年度新たな試みをして行きたいと思えます。 「みんなの防災展」イベント終了後には「方向性を決める場にいる」女性自治会長が何人かお話に来てくれました、男性方からも女性が活躍する時代かも知れないねと声をかけていただきました。 ○防災は「生きる」事を正面から考える多様な入り口を持ちます。そして「弱い所により多くの苦しみ」が来るのが現状です、それをふまえ今後も足下を固めて行きたいと考えています。
--	---

収支決算書

収入

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
団体収入	4,700	16,434	団体会費より
事業収入	36,000	28,500	6/27 1000円×12人=12,000円 9/13 300円×10人=3,000円 11/28 300円×10人=3,000円 2/6 500円×21人=10,500円
補助金収入	93,000	93,000	市民活動推進基金補助事業
	133,700	137,934	

支出

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
謝金	20,000	30,000	6/27 2名×5,000円(交通費込み) 9/13 2名×5,000円(交通費込み) 11/28 2名×5,000円(交通費込み)
旅費	6,000	0	謝金に含め支払い
物品費	41,800	43,490	事務用品(封筒、クリアファイル、修正テープ等) 6,690円 ワイヤレスマイク・スピーカーセット 36,800円
印刷製本費	24,100	37,584	講座配布資料印刷代(A4カラー 5枚×100部)
	41,800	26,860	★団体PRパンフレット(A4カラー8ページ1000部) 26,860円
	133,700	137,934	

購入物品使用報告書

1	物品の名称	取得日	取得価額
	サンワダイレクト、ワイヤレスマイク スピーカーセット会議イベント対応 マイク入力2系統	2023年6月23日	¥36,800
	使用方法		
	セミナー開催時に使用（使用方法是写真を参照）。		
2	物品の名称	取得日	取得価額
	使用方法		
3	物品の名称	取得日	取得価額
	使用方法		

- 備考 1 使用方法欄には、取得した物品をどのように使用したかを、具体的に記述してください。
- 2 「ユーザー登録」を必要とする物品を購入した場合は、団体が登録し、登録したことがわかる書類を添付してください。
- 3 購入した物品の写真及び物品を使用していることがわかる写真を添付してください。





Living by the sea

茅ヶ崎で暮らす わたし達が望み

次世代へ残したいものは…？

松林をわたる 潮風と波の音 …

自然の 恩恵には **リスク** が伴う

災害がいつ来るか心配していたら 疲れてしまいます…
考え方を変えましょう!!

生活の一部に 災害対応を 組み込むことこそが知恵
それが **「生きる力」** を育む

災害時は **選択の 連続!!**
選択基準にできる「知識を得て考える」こと…

必ずくるその日をイメージし「災害の時はこうする」と
日常のなかで思えたら… ベストな**選択**が出来る

多様な **コラボ** で 広い視野

コラボ企画 「家族防災・つなぐフェス」

Love.1ness_Shonan_hachi
Colorful Bosai Creation 古島まこ



コラボ企画 「みんなの防災展」

茅ヶ崎市主催「みんなの防災展」出展・講話出演

「女性防災会議ってなに？」

女達の **視点** と **知恵** を
防災に活かす 井戸端会議 です…

目的 「雇の防災・避難所運営」を考える

- ・ 雇の防災時、女性達が「地域**防災力**の要」
どう**考え・行動**するか → **重要な職**…
多様な女性達の思いを 集約・確かな 行動につなげる
- ・ 災害時の「**避難所運営**」には、妊婦・乳幼児・要
援者などへの 女性特有の目線での対応が必要
日々の生活体験を活かし「心理的安全性が確保」され
たなか 自由闊達な意見交換 をして**共通認識**と**知識**を
持つことで、より新しい関係（ブレークスルー）を得る



「信頼でつながれば 全てが 育まれる」

マザーアース茅ヶ崎 / SAVE茅ヶ崎 と一緒に創育しませんか？

E-mail save-chigasaki134@abelia.ocn.ne.jp

090-3236-6285 山田秀砂

マザーアース茅ヶ崎とつながる 「SAVE茅ヶ崎」仲間達へのおもい



真珠を生み出す
母のような海のパワーをもてますように

いまこそ、わたし達が大切に思い「育むもの」
が何なのかを広い視野と心で見極めて行かなければと感じています...

つながりから得た多くの学びをパワーに変えた
「SAVE茅ヶ崎」では次世代を担う子ども達の
安全と保護者の安心・学校への信頼を深め、地
域の連帯も含め「学校防災」をより良い方向へ
と改革を提案していくプロジェクトとして発足

地域防災では災害弱者(妊婦・乳幼児・障がい
者・高齢者)の「生きる力を育む」知識と方法
を生活の一部に取り入れる提案を、誰にでも腑
に落ちて貰えるよう多様な視点をもち行動に移
して行きます。



発起団体 マザーアース茅ヶ崎

「生きるちから」を育むポイント 災害時は選択の連続です....

1＜選択する力

選択とは ➡ 自分自身や置かれている環境を
自らの力で変える能力....

日本型＜ 全員のコンセンサス後 ➡ 選択

(意志決定が遅れる・責任が不明)

米型 ＜ まず選択 ➡ 失敗から学ぶ

どちらにも悪くないが「いつ・どのよう
にするのかを使い分ける」ことができるのが

➡ 優れた意志決定者

2＜真実 ↔ 覚悟 ➡ 選択(生きる力)

真実を知ったから持てる覚悟こそが選択力の礎
「腑に落ちて」こそ自分事になる

3＜選択の覚悟は意志となる

覚悟を持った選択は「知恵と経験とつながり」で
今後の私達は、行政への不満と依存で終始する
事ではなく、自身で考え選択する人達がつながり
信頼と安心の連帯をもつこと....

自由かつ多様なつながりを構築し愉しんでいく
「生きるちから」をみんなで育んでいきませんか？

第 9 号様式（第 17 条関係）

市民活動推進補助事業実績報告書

令和 6 年 3 月 29 日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名 称 一般社団法人 4Hearts

代表者氏名 代表理事 那須 かおり

令和 5 年 4 月 1 日付け 5 茅市自第 18 号で交付決定を受けました「スローコミュニケーションプロジェクト小冊子制作及び音声認識の店舗実証と合理的配慮の市民周知事業」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業名	スローコミュニケーションプロジェクト小冊子制作及び 音声認識による情報保障と合理的配慮の市民周知事業
事業の実施内容 ※実施方法、場所等を具体的に記入してください。	①小冊子制作事業 スローコミュニケーションプロジェクトを伝えるための小冊子第二弾。 22年度の活動報告と23年度の活動、今後の展望などを掲載。 (対象)茅ヶ崎市民、ワークショップ参加者、小中学校出張授業、外部 ステークホルダーなど (冊数)約3000冊 ※遠方の方にも読んでいただけるようにWEBサイトからも読めるようにしています。第1弾の小冊子はB5版だったが、より内容を充実し読みやすく、また配架棚で埋もれないようにするためにA4版に変更しました。 ◎編集会議を実施 リアルでの会議(Cの辺り) 4回×5人 日程:7月29日、10月13日、12月8日、3月1日 その他、ZOOMでのオンライン会議やslackなどを活用し、企画、編集を進めました。 ◎情報コミュニケーションバリアを感じている盲ろう者へのインタビュー 盲ろう者という人達がいることの周知、盲ろう者のコミュニケーション方法や、社会参画について、スローコミュニケーションプロジェクトの観点からインタビューを実施した。 ※インタビューの動画も併せて撮影し、WEBサイトに掲載。 (https://slowcommunication.jp/) 日程:1月23日 会場:神奈川県民サポートセンター会議室 ※盲ろう者通訳介助員は盲ろう者1名につき2名 会場でのインタビュー時の通訳だけでなく、盲ろう者の自宅から会場への往復の時間も含まれます。(1人での外出は困難なため) 社会福祉法人神奈川聴覚障害者総合福祉協会の盲ろう通訳介助員を派遣利用しました。 ◎きこえない、きこえにくい体験のためのヘッドホンからながすブラウンノイズを制作協力していただいたプロのサウンドデザイナー沖田様のインタビュー 日程:12月11日 ZOOMを利用したインタビューを実施しました。

	◎図書館イベント(茅ヶ崎市共催)を開催 (こちらのイベントはタチバナ財団の助成金を活用し開催しました。) 日程:2月12日 場所:茅ヶ崎市立図書館 イベント開催レポートを小冊子に掲載。 イベントの動画については第1弾と同様、4HeartsのYouTubeチャンネルにて公開予定。ハーモニアスちがさきを担当していた(株)メディアケイフォームに依頼し、字幕、ナレーション、手話ワイプまで挿入編集していただいております。 YouTube 4Hearts チャンネル (https://youtu.be/Vr0wSofmc?si=NHcGYgZ3r9wExb3I) ②ワークショップ等の音声認識による情報保障 まちづくりスポット茅ヶ崎でのワークショップや図書館イベント等での音声認識利用のため、タブレットを活用。コロナ禍で更に発展した音声認識のテクノロジーを展示、活用することで参加者、当事者等に音声認識に対する理解を周知、啓発しています。 店舗などでの実証については、話し合いを重ねており次年度以降に実施を予定しています。 ③合理的配慮の民間義務化についての市民周知事業 ◎デジタルサイネージを他の助成金にて購入することができたため、げんき基金の補助でのA1パネル作成の実施を中止しました。 ◎合理的配慮の民間義務化に向けた講演や、ブースを設営しての展示、聴覚障害の体験など市民に対しての周知を実施しました。
事業の参加者数	2023年4月22日 サイレントアートワークショップ (約10名) 2023年9月10日 言語聴覚の日 展示 (約200名) 2024年2月12日 図書館イベント (子ども参加者:24名・見学者向け体験約40名)
事業の日程	2023年4月22日 サイレントアートワークショップ まちすばちがさき 2023年9月10日 言語聴覚の日 展示 茅ヶ崎市民文化会館展示室 2023年12月11日 サウンドデザイナーインタビュー Zoom 2024年1月23日 盲ろう者インタビュー かながわ県民サポートセンター 1503会議室

	2024 年 2 月 12 日 図書館イベント 茅ヶ崎市立図書館
事業の成果と今後の展開	4Hearts 始動 1 年目から市民活動げんき基金の補助を受けながら活動し続け、社会に伝えたいメッセージや目指したい世界の言語化をブラッシュアップしてきた。体験を通した実感を持って事業や社会サービスをより良くしていくためのコンテンツも、形になってきた。 こうした 4Hearts の今までの活動の集大成として、今回、改めて小冊子にまとめることが出来たことに意義があった。 小冊子には、情報コミュニケーションバリアを象徴する事例として、盲ろう者である川島さんに取材を行った。 盲ろう者から見た社会においての心理的バリア、それを超えて精力的に活動する意識についても伺うことができ、障害の有無関係なく広く、社会に対してコミュニケーションの本質と豊かさを伝えられる記事になった。 茅ヶ崎市役所、市内公共施設にて配架。ワークショップ、講演、研修等にて配布していく。 2024 年 4 月から施行される合理的配慮の民間義務化に向けた講演や、インクルーシブコミュニケーション研修を団体・企業に提供。 また、ブースを設営しての活動紹介やヘッドホン体験コーナーを設けた。 それらの際に、デジタルサイネージやタブレット PC を活用した音声認識アプリの紹介や音声認識表示を行ったことで、認知度の向上に寄与した。「こんなアプリがあるんですね、自分のスマホにも入れてみます！」「こんなに精度が高いんですね！」といった声も多く上がった。



NTTドコモグループ会社からのプロボノや、有志の社会人プロボノの方々と共に、企業研修のマーケティングから研修制作までを共に実施。さらに株式会社リタワークスのクリエイティブ助成「SOCIALSHIP」の最終助成団体として採択され、企業研修 LP を制作して頂いた。

<https://biz.slowcommunication.jp/>

こうしたブラッシュアップや形づくりを同時に並行しながら、企業や団体むけに研修や講演を展開したことで、市民周知や社会周知だけでなく、企業との協働へと広げることができた。

また、2023 年度は横浜市立東小学校きこえとことばの教室でのワークショップや、茅ヶ崎市商工会議所、京都府綾部市、日本産業カウンセラー協会、NTT コムエンジニアリングなどから合理的配慮の提供などをテーマとする講演を 7 回、茅ヶ崎市役所新人研修(春、秋 2 回)をはじめ、塩野義製薬など企業でのインクルーシブコミュニケーション研修 4 回と、企業研修や講演等の依頼が増えてきた。

来年度は積極的な営業をかけ収益化につなげていきたい。

これらの事業成果を受けて、今後は音声認識アプリや表示機器を活用した社会実装に向けた取り組みや実証データ収集を広域で展開予定。そのデータを企業に対する CSR・CSV 提案として活用し、ファンドレイジングの強化に活用していく。

引き続き社会人プロボノの方々と協働し、コンテンツ制作を実施予定。クラウドファンディングを実施したり、カンファレンスに出席したりしたことで、応援者や興味を持ってくれた企業などステークホルダーとの

	関係性構築ができてきたところなので、そこをしっかりと強化していく。また、ソーシャルイノベーション研究プラットフォームに参加していくことで、横の繋がりを強化していく。 そうすることによって、4Hearts の目指す場づくりや、社会変革を、茅ヶ崎から日本、世界へと、より実現に向けて活動していく。 令和 6 年度のかながわボランタリー活動推進基金 21 協働事業負担金の交付が決定し、新たなステージにて事業を展開していきます。 『情報アクセシビリティ社会モデル事業』（福祉子どもみらい局福祉部障害福祉課・地域福祉課）
--	---

収支決算書

収入

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
1. 団体収入	336,450	299,720	団体活動費にて負担
2. 補助金収入	500,000	449,000	市民活動げんき基金補助(51,000円返納)
	836,450	748,720	

支出

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
1. 委託費	495,000	495,000	小冊子制作委託費 NPO法人湘南スタイル 440,000円 動画制作委託費(株)メディア・ケイフォルム 55,000円
2. 謝金	68,000	33,500	取材:盲ろう者 5,000円 ×1人 盲ろう通訳者 3時間45分 15,500円×1人 2時間50分 13,000円×1人
3. 旅費交通費	5,100	4,900	1月23日盲ろう者取材の交通費5人分 4,900円
4. 物品費	93,460	92,800	タブレット 92,800円
5. 印刷製本費	70,000	80,000	A4版(20P×3,000部) 80,000円
	63,000	0	A1パネル作成
6. 使用料・賃借料	41,890	42,520	Cの辺り:会議利用(2000円×5人×4回) 40,000円 神奈川県民サポートセンター 630円×4時間 2,520円
	836,450	748,720	

第10号様式（第17条関係）

購入物品使用報告書

	物品の名称	取得日	取得価額
1	マイクロソフトSurfaceProX MJX-00011 SIMフリー	2024年1月25日	92,800円
	使用方法		
	音声認識ソフトを起動するため、WindowsOSのタブレットが必須。 手話がわからない聴覚障害者などへの情報保障として使用する。従来は要約筆記（常時4名派遣・4000円/1h/1人）。 会議やイベントにて単独での音声認識を表示、また、透明ディスプレイやモニターへの接続で大型画面での表示をしました。  		

- 備考 1 使用方法欄には、取得した物品をどのように使用したかを、具体的に記述してください。
- 2 「ユーザー登録」を必要とする物品を購入した場合は、団体が登録し、登録したことがわかる書類を添付してください。
- 3 購入した物品の写真及び物品を使用していることがわかる写真を添付してください。

市民活動推進補助事業実績報告書

令和6年3月29日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名称 ガーゼ帽子を縫う会
代表者氏名 代表 吉田 久美

令和5年4月1日付け茅市自第4号で交付決定を受けました「①がんサバイバーのためのワークショップとコミュニティ作り」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業実施報告書

事業名	①がんサバイバーのためのワークショップとコミュニティ作り
事業の実施内容 ※実施方法、場所等を具体的に記入してください。	がんサバイバーを対象に午前中は抗がん剤等の副作用でおこる脱毛時にかぶるガーゼ帽子を手縫いしながら、コミュニティ作り、午後はパステルアート、一日を通して乳がん体験者コーディネーターのピアサポートを実施した。 参加者の中には治療中の方もおり、抗がん剤の副作用による指先の乾燥により、アルコール消毒が沁みるため手指消毒薬等にも配慮し、また開催中のマスク着用と適宜換気等にも配慮して行った。 実施場所：コミュニティカフェ にじカフェ 【ガーゼ帽子作り】ガーゼ帽子を作りながら自己紹介を通してこれまで頑張られてきた経験や想いを吐露し合う。 【パステルアート】淡い色のパステルを通して、自己表現をしながら気持ちを解放するアートを描く。 【ピアサポート】同じような経験をした人と話すことで一人じゃないことを感じ、こころの整理をする。必要としているがんに関わる正しい情報を得る。
事業の参加者数	①ガーゼ帽子作り 5 名、パステルアート 5 名、ピアサポート 1 名 (年代内訳：50 代 6 名、60 代 2 名、不明 3 名) ②ガーゼ帽子作り 6 名、パステルアート 5 名、ピアサポート 1 名 (年代内訳：40 代 2 名、50 代 5 名、60 代 5 名) 計 23 名
事業の日程	①2023 年 7 月 8 日（土）10：00～16：00 ガーゼ帽子作り 10：00～13：00 パステルアート 14：00～16：00 ピアサポート 10：00～16：00 ②2023 年 12 月 2 日（土）10：00～16：00 ガーゼ帽子作り 10：00～13：00 パステルアート 14：00～16：00 ピアサポート 10：00～16：00

事業の成果と今後の展開	【事業の成果】 2日間を通してどちらも温かい雰囲気の中で開催できたと思う。 ガーゼ帽子作りでは途中、自己紹介をしながら想いが溢れて涙する方もおられたがサバイバー同士頷きながらまたは共に涙しながらその時間を共有できた。完成した時にはみなさん笑顔がみられ「話せてよかった」とおっしゃっていた。完成したガーゼ帽子はご自身のため、今治療をしている仲間へのプレゼント、ガーゼ帽子を縫う会へ寄附をしてくださる方もおられた。 パステルアートでは温かい色に癒され、また使う色をご自身で選択することで自己肯定感へと繋がった。ガーゼ帽子もパステルアートもご自身へのギフトとなったと思う。 ピアサポーターとのお話に参加された方はご自身の治療について改めて気持ちやこれまでの治療経過の整理が付いたとお話されていた。同じような経験をし、知識もあるコーディネーターと話せて良かったという感想をいただいている。 【アンケート結果】 *参加して良かった：100% *また参加したい、または作り手として参加したい：100% という回答を得られた。 (※参加者感想は補足資料を参照) 【今後の展開】 アンケートによると参加された方全員が「また参加したい」と回答してくれているので、これをきっかけに、にじカフェとコラボレーションをしながら継続的に展開していきたい。 参加したことで自身のやりがいや役割に気付いた方もおり、今後は寄附用子ども用ガーゼ帽子作りの担い手となって参加してもらえるようにしたい。そのためには資金作りも必要となるため、ガーゼ帽子を縫う会のサポーター会員を募集する仕組み作りをしていきたい。 告知場所にクリニックや病院などで掲示してもらえると必要な方へ届きやすいと思うが、難しいと感じている。がん患者は増えているので各施設への呼びかけを考える必要があると感じている。 アンケートによると、にじカフェで知った、知人から誘われて、主催者から案内があったという参加者が多数だった。 行政の後援、または協力を依頼することも検討したい。
--------------------	--

収支決算書

収入

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
事業収入	10,000	11,500	①@500×11名 ②@500×12名
補助金収入	160,000	145,000	市民活動推進補助制度(返納:15,000円)
団体収入	30,900	25,518	ガーゼ帽子を縫う会団体資金から充当
	200,900	182,018	

支出

科 目	当初予算額	決算額	内 訳
賃金(会員外)	60,000	50,000	ワークショップ補助スタッフ@10,000×1名(7/8) ワークショップ補助スタッフ@10,000×2名(12/2) ピアサポーター(コーディネーター)@10,000×1名×2日間
物品費	73,500	75,532	手指・室内消毒液 5,940円 カッティングマット1,250円×1・カッターマット721円×4 セロテープ替え130円×2・テープケース400円×3 カッター100円×5・定規215円×5 黒刀(カッターの刃)174円・ボキ(刃入)178円×1 練消しゴム115円×3個・コピー用紙(A4)759円 パステル48色×5セット4,680円×5 ぼかし網194円×10・M画用紙792円・水彩色鉛筆3,696円(送料660円) コットンパフ110円・ウェットシートボックス110円 色画用紙110円・ブラシ(エアコンクリーナー)110円×2 荷造りひも110円 フィキサチーフ1,056円・コーナーパンチ924円 マッキー115円・ペン154円・油性ペン115円 ガーゼ生地 27,455円
印刷代	20,000	7,586	フライヤー100部(7月分) 4,800円 フライヤー330部(12月分) 2,786円
通信運搬費	7,400	8,900	レターパック@370×10枚 3,700円 レターパック@520×10枚 5,200円
使用料・賃借料	40,000	40,000	にじカフェレンタル使用料@20,000×2日間
	200,900	182,018	

がんサバイバーのための ワークショップ



- | | | |
|--|--|---|
| ① 10時～13時
(受付9:30～)
ガーゼ帽子作りと
おしゃべりサロン
8名 | ② 14時～16時
(受付13:30～)
パステル画で
癒しのひととき
8名 | ③ 10時～16時
ピアサポーターと
個別にお話し
4組
(各1時間) |
|--|--|---|

日時：2023年7月8日(土)

場所：にじカフェ(茅ヶ崎市幸町13-20)
茅ヶ崎駅南口徒歩8分

対象者：がんサバイバー
(がんによる影響を受けているご本人)

参加費：各¥500(材料費込み)

各種ワークショップお申込は
こちら→



令和5年茅ヶ崎市市民活動げんき基金補助事業



がん治療中、同じような体験をした仲間と出会うことで
「ひとりじゃない」と感じることができ、心が救われた
気がしました。仲間と一緒にしゃべりながらホッと
した時間を過ごしませんか？

①午前の部 10時～13時



乳がん治療などで脱毛時にかぶるガーゼ帽子をちくちく縫いながら体験者同士お話しをします。
体験者なら話せる、あんなことやこんなこと。
ガーゼ帽子はリバーシブルに縫いあがります。直接縫いの
で手に傷があっても大丈夫です。縫い目もぼろぼろです。
Wガーゼの優しさで手からも癒される時間です。

②午後の部 14時～16時

パステルを使用してふんわり優しい絵を描いてみませんか？どなたでも筆触に描けること間違いなしです。パステルの優しい色合いがこころを開放してくれます。



③午前～午後 10時～16時

乳がん体験者コーディネーターがお話しをお伺いします。不安な気持ち、泣きたい気持ち、誰かに聞いて欲しいこと。あんなことやこんなこと。個別にお話しをお伺いします。話してみませんか？ご本人だけでなくご家族、ご友人も一緒にどうぞ。
※医療的な相談はお受けできません。

にじカフェHP

ガーゼ帽子を縫う会HP



★お昼はにじカフェの美味しいランチのご用意もあります(別会計)
※介護タクシーによる送迎も可能です

主催：ガーゼ帽子を縫う会

問い合わせ先

https://www.gaze-boushi.com/pages/5066074/page_202107032039



HAPPY
WINTER♪

がんサバイバーのための ワークショップ

2023年12月2日(土)

場所：にじカフェ(茅ヶ崎市幸町13-20)
茅ヶ崎駅南口徒歩8分

参加費：500円(材料費込み)

対象者：がんサバイバー
(がんによる影響を受けているご本人)

各種ワークショップお申込は
こちら→



雪がにきてる♪



令和5年茅ヶ崎市市民活動げんき基金補助事業

主催：ガーゼ帽子を縫う会



がん治療中、同じような体験をした仲間と出会うことで
「ひとりじゃない」と感じることができ、心が救われた
気がしました。仲間と一緒にしゃべりながらホッと
した時間を過ごしませんか？

①午前の部 10時～13時



乳がん治療などで脱毛時にかぶるガーゼ帽子をちくちく縫いながら体験者同士お話しをします。
体験者なら話せる、あんなことやこんなこと。
ガーゼ帽子はリバーシブルに縫いあがります。直接縫いの
で手に傷があっても大丈夫です。縫い目もぼろぼろです。Wガーゼの優しさ
で手からも癒される時間です。

②午後の部 14時～16時

パステルを使用してふんわり優しい絵を描いてみませんか？どなたでも筆触に描けること間違いなしです。パステルの優しい色合いがこころを開放してくれます。



③午前～午後 10時～16時

乳がん体験者コーディネーターがお話しをお伺いします。不安な気持ち、泣きたい気持ち、誰かに聞いて欲しいこと。あんなことやこんなこと。個別にお話しをお伺いします。話してみませんか？ご本人だけでなくご家族、ご友人も一緒にどうぞ。
※医療的な相談はお受けできません。

にじカフェHP

ガーゼ帽子を縫う会HP



★お昼はにじカフェの美味しいランチのご用意もあります(別会計)
※介護タクシーによる送迎も可能です

主催：ガーゼ帽子を縫う会

問い合わせ先

https://www.gaze-boushi.com/pages/5066074/page_202107032039



参加してみての感想

- パステル画興味があったので楽しかった。難しいけどうまく描けるようになればもっと楽しいと思う。
- とても楽しかったです。話が出来うれしかったですしすてきなガーゼ帽子が出来上がり楽しい時間を過ごせました。
- 楽しい時間で気持ちが明るくなりました。あっという間でまた参加したいと思います。
- 本日は参加させて頂きありがとうございました。物作り、」とてもいい時間を過ごせました。初めてサバイバーさんと話すことが出来、とてもうれしかったです。6
- 参加して良かったです。気持ちが落ち着いておだやかになりました。
- とても楽しい時間でした。出来上がった作品を見てとても嬉しいです。
- 良かったです！！こういう創作系のワーク&がん仲間の集まり、おいしい食事、自分にとって求めてたもので、すごいこれは身も心も共に元気になれる。
- 今回も楽しい時間を過ごすことが出来ました。同じ病気の方との時間はひとりじゃないと思える唯一の時間です。今後もぜひ参加させていただきます。ありがとうございました。
- 2回目の参加でしたがとてもなごやかな雰囲気の中でワークショップができて楽しかったです。
- 参加させてもらって良かったです。同じ病気をもつもの同士で変に気を遣うこともなく、楽しい時間でした。
- ずっと参加したいと思っていたことが実現したのでうれしかったです。そしてみなさん温かかったです。

にじカフェ



ガーゼ帽子



パステルアート



ガーゼ帽子作り



7月8日(土)

7月8日(土)



12月2日(土)

ピアサポートの部屋



